

一手の詰連珠

五段 真野 芳久 著

東海連珠会

目次

1	はじめに	1
2	ゼロ手の詰連珠	7
3	一手の詰連珠：レベル-1	23
4	一手の詰連珠：レベル-2	63
5	一手の詰連珠：レベル-3	103

本冊子に関する情報は、東海連珠会ホームページ^(*)の“連珠資料”内でご覧頂けます。

(*) <http://tokai-renjukai.pya.jp/>

1 はじめに

五目並べとも呼ばれる^{れんじゆ}連珠は、15×15の連珠盤と碁石を使って2人が交互に石を置き、先に五つ連続して並べた方を勝ちとする盤ゲームです。幅広い世代で気楽に、そして名人戦や世界選手権等で真剣に楽しまれています。対局の最後は、三や四等の攻め手(追い手)で相手に防ぎを強要しながら、五や四三等の勝ち形を作ることになりますが、その部分だけを問題として抜き出して一人でも楽しめるようにしたのが^{つめれんじゆ}詰連珠です。

ここでは詰連珠の中でも易しめの一手の詰連珠を扱います。ここで“一手の”としていますが、“一手目に五や四三ができる”という意味ではありません。詰連珠の解答に見られる‘1後AまたはBの四三勝ち’とか‘1後(イロ)でX点三々禁’等のように、“一手打つと次の手で明白な勝利形が確実にできる”という意味です。詰連珠的には“3珠打上げ”の問題となりますが、後述のようにある種の“5珠打上げ”の問題も含めたいこと、容易な問題クラスであること

を強調したいことのために敢えてこのように命名しています。本冊子には直ちに勝利形を作ることができるものも含めることにします(何の準備もなく勝利形ができるので、ここでは“ゼロ手の詰連珠”と呼びます)。正確には次のものを勝利形と呼びます。連珠用語の説明は後ろに付けます。防ぎ手側が攻め手側より早く五を作れる状況でないことは前提とします。

- 五、白の長連(以降では五に含めて記述します)、達四
- 四三(防ぎ手側に四のノリ手がある場合は除く)、白の四々
- 攻め手が白で四があり、防ぐ手が禁手になっている
- 現在攻め手側に四があり、以降も四の連続で上記のどれかになる
- 詰連珠の規則では上記より1珠増とされていますが、明白な勝ち形という意味で、防ぎきれない白の三々、黒の合法的な三々(同時にはできるけれど着手点を共通点としない2つ以上の三)、防ぎ手の1つが逃れられない禁手となっている三も勝利形に含めます。

詰連珠ですので初手は追い手に限りますが、勝利形の定義から“一手の詰連珠”には、例えば次のような問題が含まれます。

- 直ちに四追いで四三を作る、あるいは禁手にハメる
- 三をヒイて次に 0 回以上の四の後に四三を作る、あるいは禁手にハメる
- 複数の筋のミセ手、フクミ手である手を打ち、いずれかで勝つ
- 四ノビ後に三々を作る
- 三をヒキ、どの防ぎに対しても次の三で禁手を打たせる

“二手勝ち問題”あるいは“4 珠五連問題”等では、五を作るまでに使うことのできる攻め石の数が制限されますが、“一手の詰連珠”では攻め石の数に制限はありません。つまり、最後の四追い部分は長いかもしれません。とは言え、本冊子では数回程度、最長でも 10 回になっています。

余詰め*¹は極力なくすようにしていますが、見つけるのに苦勞する長めの追詰めで、消すためには問題図を複雑化せざるを得ない場合は、敢えて余詰めの存在を容認したものもあります。

*¹ 解答図とは異なる勝ち筋で勝ちに至るもので、詰連珠ではあるべきでないものです。同じ勝ち筋のもの、解答図と手順が前後するだけのものは許容範囲内です。四追い部分の手順前後、あるいはせずにすむ四ノビ等をして勝ちに至るものは、完全に許容されます。

連珠用語に馴染みのない方のために、基本用語を簡潔に説明しておきます。

五 : 縦・横・斜めに同色の石が丁度 5 個並んだもの。^{ごれん}五連とも言います。

黒・白とも勝ちです。

^{きんて}禁手 : 反則手。打つと (相手の四や三等を止めるためでも) 負けです。

^{ちょうれん}長連 : 縦・横・斜めに同色の石が 6 個以上並んだもの。黒は禁手ですが、白は勝ちです。

四 : 1 個の石の追加で五 (白では長連も含む) となるもの。

^{たつし}達四 : 四で、五にする場所が 2 つあるもの。^{ぼうし}棒四とも言います。

三 : 1 個の石の追加で達四となるもの。

^{さんさん}三々 : 着手点を共通点として同時にできる 2 つの三。黒は禁手です。

^{しし}四々 : 同時にできる 2 つの四。黒は禁手です。

^{しさん}四三 : 同時にできる四と三。

^{せんて}先手 : 黒のこと。時に、新たな戦いの場に先に打つ側のこと。

^{ごて}後手 : 白のこと。時に、新たな戦いの場に後に打つ側のこと。

- ミセ手 : 次に四三 (白の場合は四々も含む) を作るぞと打つ手。
- しお
四追い : 四の連続で打つこと。四追い勝ち、四追いで勝つこと。
- フクミ手 : 次に四追いで勝つぞと打つ手。
- おて
追い手 : 三を作る (ヒク) 手・四を作る (ノビル) 手・ミセ手・フクミ手の総称。
- 防ぎ手 : 追い手に対して五を作らせないように打つ手。三や四に対して防ぐことを止めるとも言います。
- おいづ
追詰め : 追い手の連続で勝ちを導くこと。おいが 追勝ちとも言います。
- ちょうれんすじ
長連筋 : 直線状に並び間に空点のある3つ以上の同色の石群で、空点を同色の石で埋めた時に長連になるもの、またその状態。
- ノリ手 : 追い手になっている防ぎ手、または相手の四追い中に四ができる防ぎ手。
- ノリ切り : 相手の四の中にある空点に防ぐことで四になること。
- ノリ押さえ : 相手の四を端に防ぐ手が四になること。

けんさき

剣先 : 四ノビできる場所。

なつど

夏止め : ○・●●●・○のように、両端が空点の三連で、空点の先に敵石(または盤端)があり、三でない状態。

長連筋の夏止め : 黒の三連で、○・●●●・●のように、2つの空点の先に黒石があって、三になっていない状態。

四ノビ無効 : その四を止めると新たな追い手が生じ、以前の追い手を加えたすべての追い手を防ぐ手段がないこと。

本冊子で使っている記法

● : 天元の位置(盤の中央)にある黒石。

1 後 A : 攻め手側の着手 1 に対し、どのように防いでも A として勝ちとなることを示します。

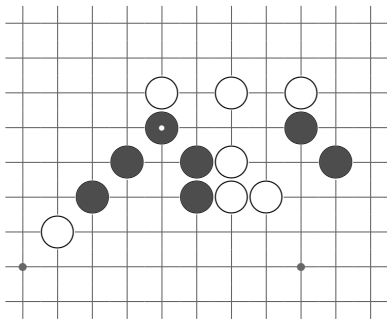
(イロハ) : 丸括弧で囲むことで四追いであることを示します。

: これに続く文は、正解手の補足説明です。

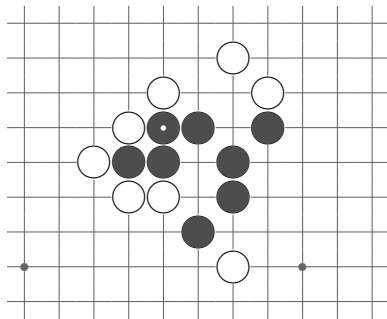
※ : これに続く文は、失敗手の説明です。

2 ゼロ手の詰連珠

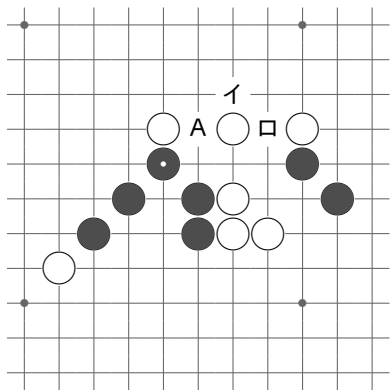
この節では、準備段階なく(ゼロ手で)直ちに勝利形ができる問題を扱います。例えば、直ちに四三を作る、四追いで四三を作る問題があります。直ちに三々を作る、白が三で禁手を強要する問題も含まれます。



【問 0-1：黒先】まずは小手調べ。でも罨にひっかからないように。

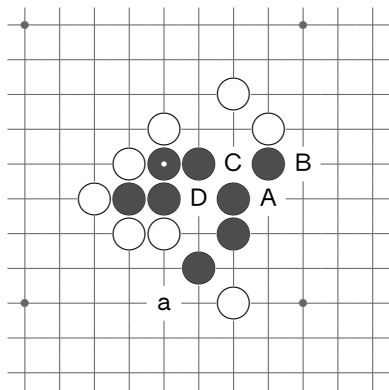


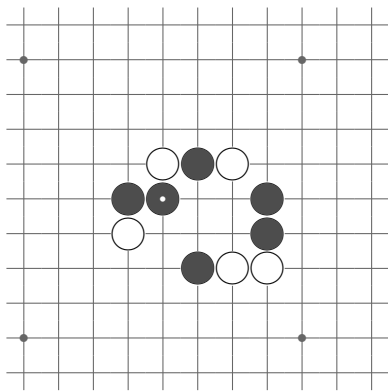
【問 0-2：黒先】四三らしき点がありますが、本物は1つだけです。



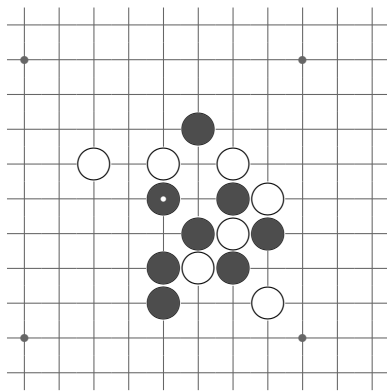
【問 0-1】(イロ) のノリ切り達四勝ち。

※ A も形は四三ですが、白にノラれていて負けになります。

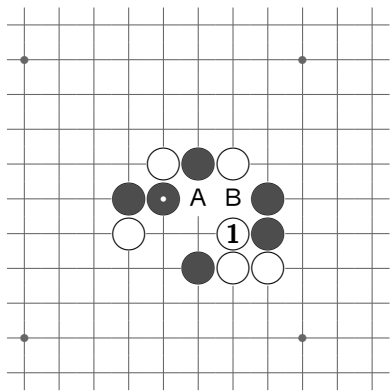




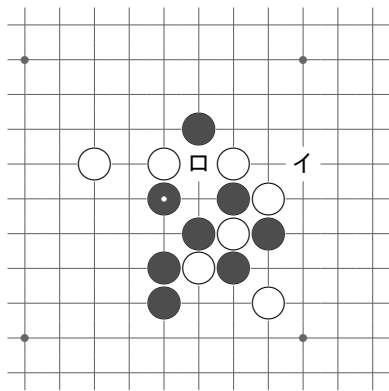
【問 0-3：白先】黒は次に四三を作ることができますが、白先の問題です。



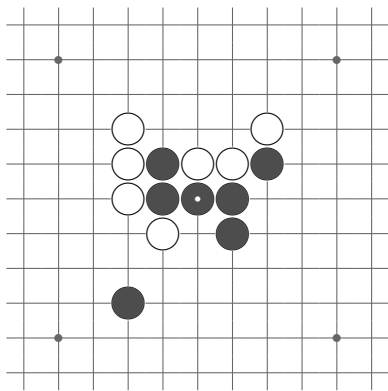
【問 0-4：白先】白の特権を使いますが、順序は大事です。



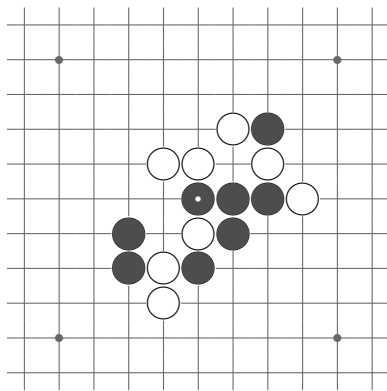
【問 0-3】白 1 の三々で白勝ちです。
 # 黒は A も B も四三で、白の三々の一方の三を止めることができますが、他方を達四にしてしまいます。



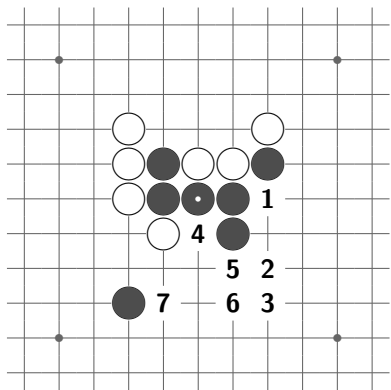
【問 0-4】白 (イロ) と四ノビすれば、ノリ手の心配のない四々勝ちです
 ※ (ロイ) の順に四を作ると、先に黒に四ができて失敗です。



【問 0-5 : 黒先】 白の三を止めにいけますか？

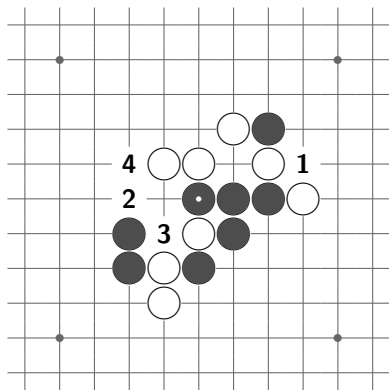


【問 0-6 : 黒先】 四三の点が見えていますが、白のノリ手が心配です。



【問 0-5】黒 1~7 *²で四三勝ち。

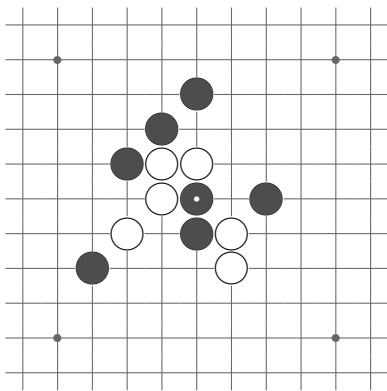
四追いであれば、相手の三を止める必要はありません。



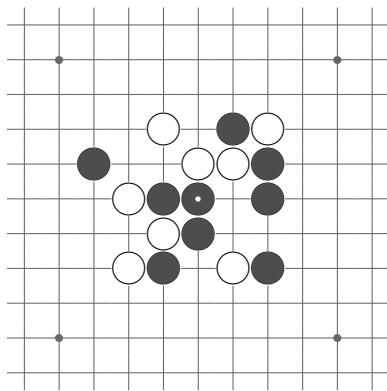
【問 0-6】黒 1~4 でノリ押さえ達四勝ち。

順序は重要です。順序を変えると白に達四ができたり、白の四をノリ返せません。

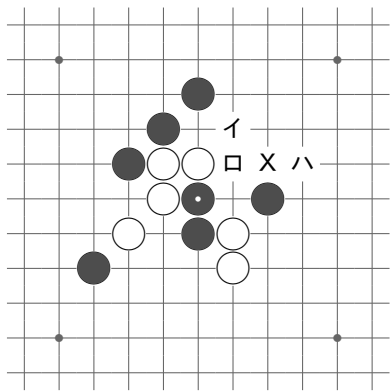
*² 長めの四追いでは、攻め手側の着手を 1, 2, 3, ... で表わします。



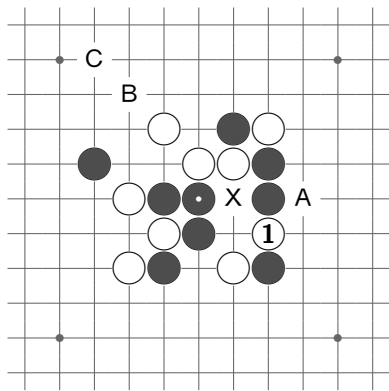
【問 0-7：白先】黒には三があります。



【問 0-8：白先】黒には四三の点も四々の点もあります。



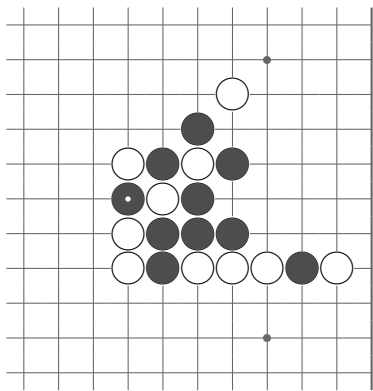
【問 0-7】白 (イロハ) で X 点三々禁。



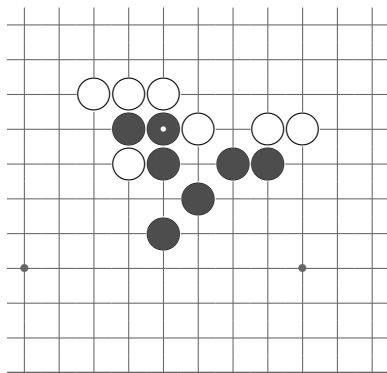
【問 0-8】白 1 で X 点四々禁。

黒 A の四三はノッています。

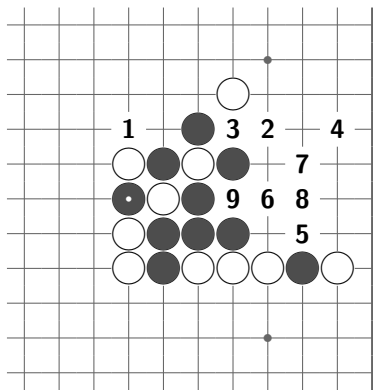
※ 同じようでも白 B とヒクのは、黒 1 の四ノビ後の C 止めで失敗です。



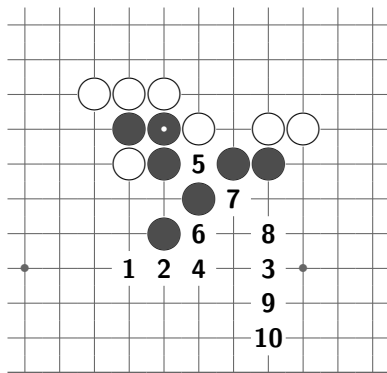
【問 0-9 : 黒先】直ちに四追いです。



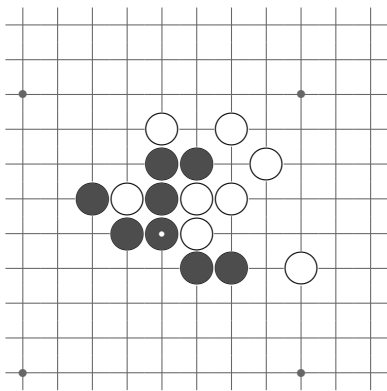
【問 0-10 : 黒先】直ちに四追いです。



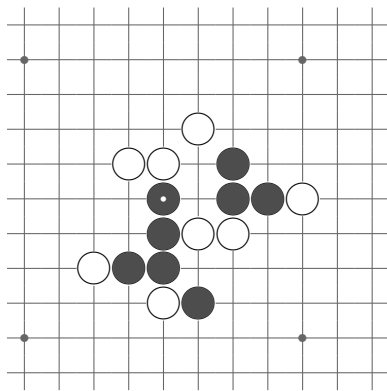
【問 0-9】 黒 1~9 で四三勝ち。



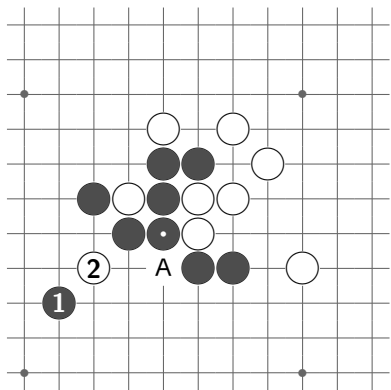
【問 0-10】 黒 1~10 で四三勝ち。



【問 0-11：黒先】白の三を止めると禁手になります。

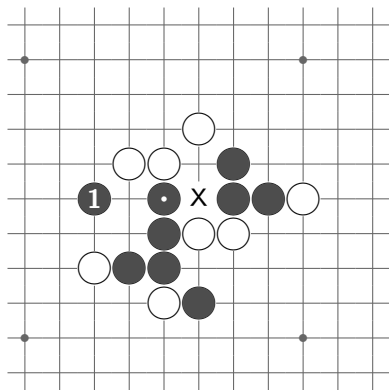


【問 0-12：黒先】四々禁を狙われていますが、逆用します。



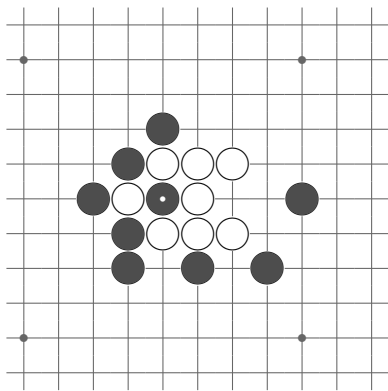
【問 0-11】黒 1 の四で白 2 と止めさせて、A の四三勝ちです。

A 点は四三々だったのですが、白 2 がきて横の三が夏止めになりました。

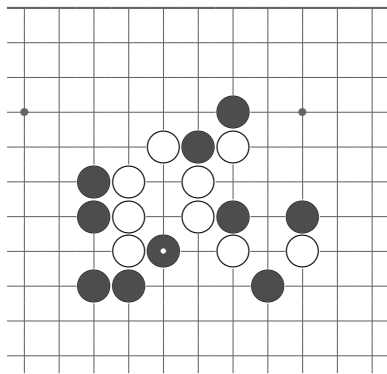


【問 0-12】黒 1 で X 点の四々が解除され、2 つの三ができての勝ち。

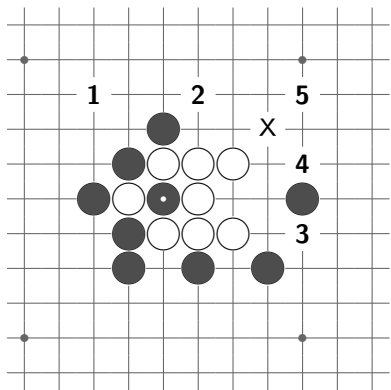
黒 1 で同時に 2 つの三ができますが、着手点を共通点としていないので、禁手の三々ではありません。



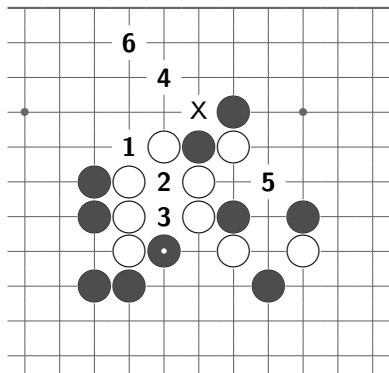
【問 0-13：白先】黒は白の四三をノル三をヒキ、四三を作ろうとしています。



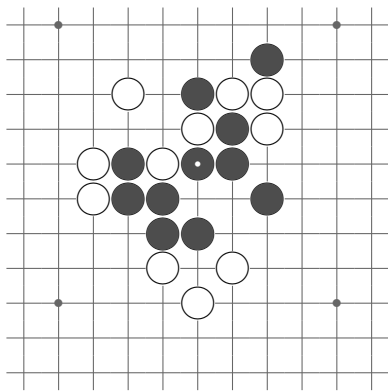
【問 0-14：白先】長連禁になりますが、どの列にできるのでしょうか。



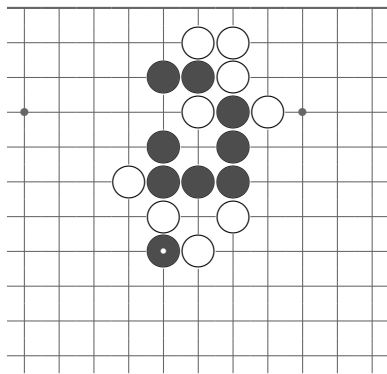
【問 0-13】 白 1~5 にて X 点四々禁。
 # 直交する四々で、現われやすい形です。



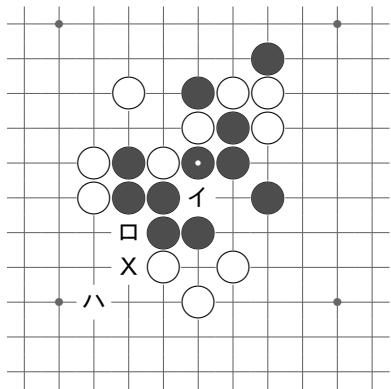
【問 0-14】 白 1~6 にて X 点長連禁。
 # 四方に長連筋ができますが、上部にできる長連禁でした。



【問 0-15：黒先】四三々禁を狙われていますが、考えれば何とかなるものです。



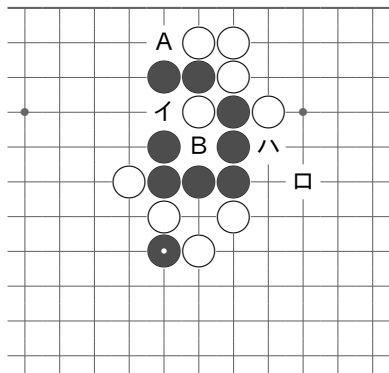
【問 0-16：黒先】すぐに四三のように見えますが...



【問 0-15】黒 (イロ) の四三勝ち。

イに黒石がきたため、ロは X 点四々で縦が三でありません。

※ X 点に白石を置くために (イハ) まで四ノビすると、勝てなくなります。



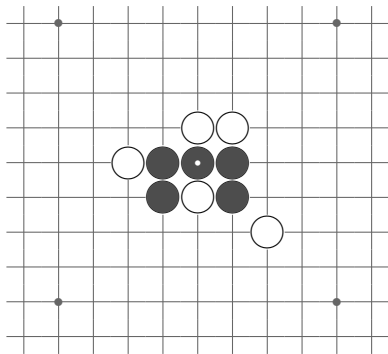
【問 0-16】黒 (イロハ) の四三勝ち。

ハは、B が四三々のため横は三でなく、単なる四三です。

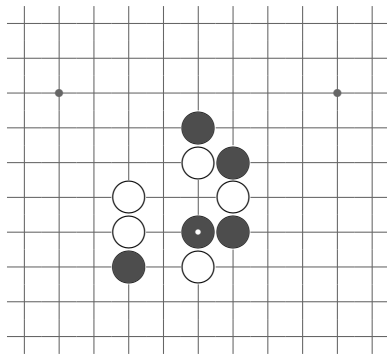
※ 初手 'A で四三'、あるいは 'ロで四三' は、ハが四三々のため失敗。

3 一手の詰連珠：レベル-1

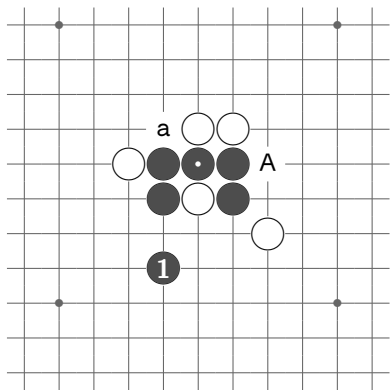
この節では一手打って次に勝利形を作る“一手の詰連珠”の中で易しめの問題を紹介します。



【問 1-1：黒先】1回三をヒケば、次は勝利形を作れます。

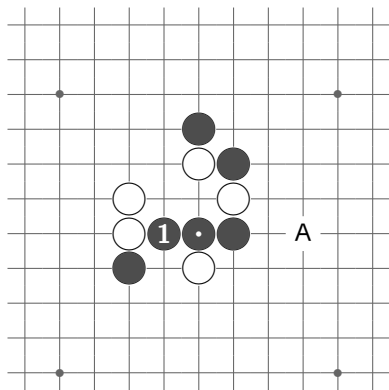


【問 1-2：黒先】三々は禁手ですが、四三の一步手前です。



【問 1-1】黒 1 後、A の四三勝ち。

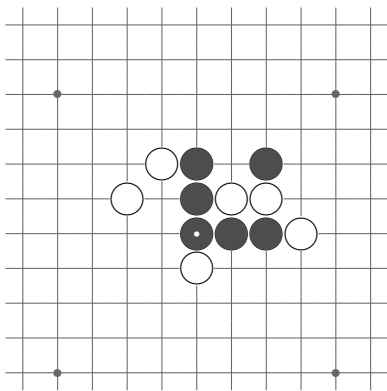
黒の三に白 a と三を作られますが、四三ができるので気にする必要はありません。



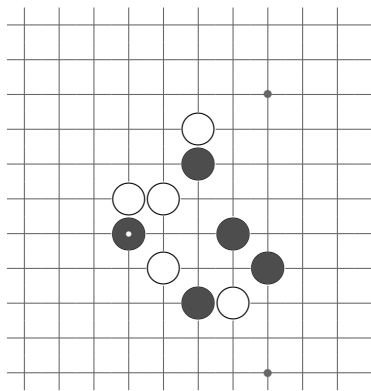
【問 1-2】黒 1 後、A の四三勝ち。

四三ができるのであれば、相手に三がいくつできて問題ありません。

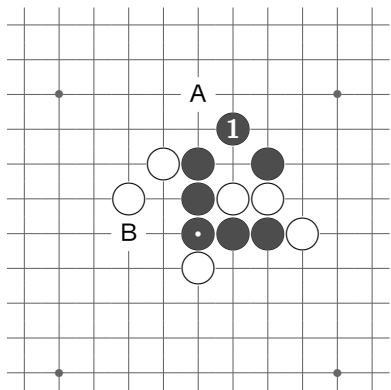
※ 初手で A は三々の禁手で、反則負けです。



【問 1-3：黒先】四三を作る点を目指して打ちます。



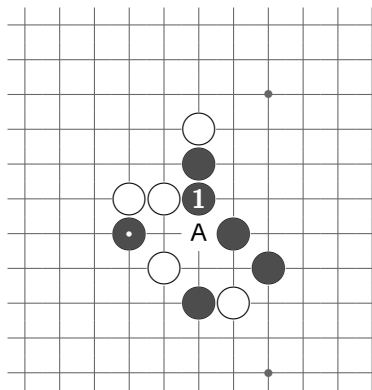
【問 1-4：黒先】ノリ手に注意しましょう。



【問 1-3】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

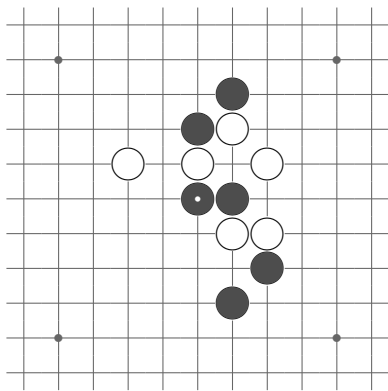
黒 1 の手を両ミセの手と言います。

※ 先に四ノビをすると、勝てなくなります。

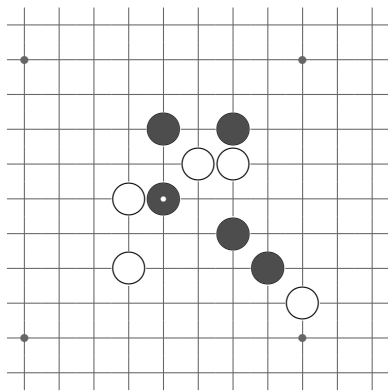


【問 1-4】黒 1 後、A の四三勝ち。

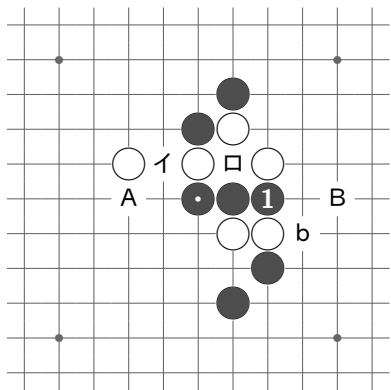
※ ‘A 後 1’ はノラれます。



【問 1-5：黒先】どこに四三を作りましょうか？白の四ノビにも注意。

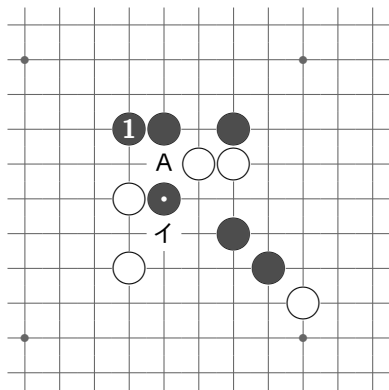


【問 1-6：黒先】よく考えてから打ちます。



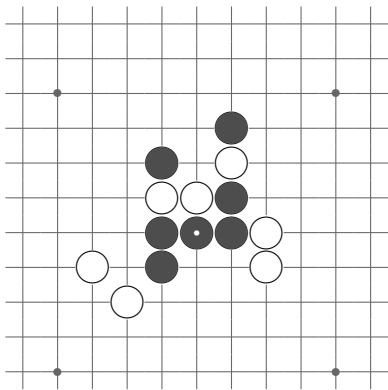
【問 1-5】黒 1 後、A または B の四三勝ち。白イや口の四ノビは、新たに別の三ができるため、無効です。

※ 初手で B は、白イの四ノビ後に b と止められます。

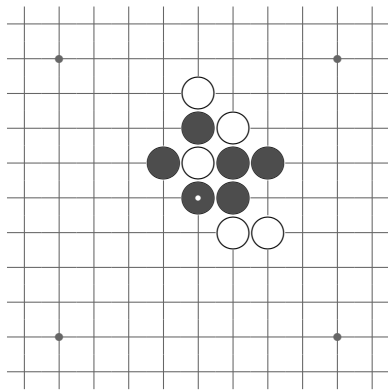


【問 1-6】黒 1 後、A の四三勝ち、または (A イ) のノリ切り達四勝ち。

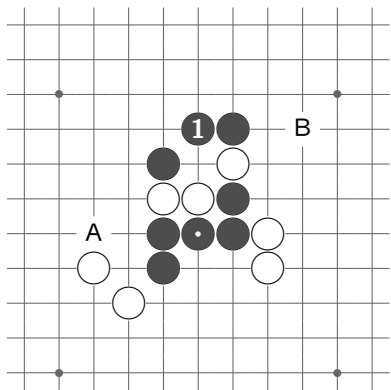
※ 初手で A は、白イと止められます。



【問 1-7：黒先】スマートに勝てます。

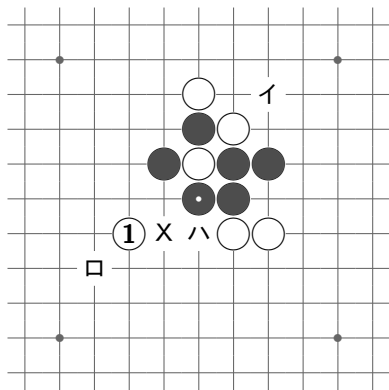


【問 1-8：白先】『白を持ったら禁手を狙え』です。

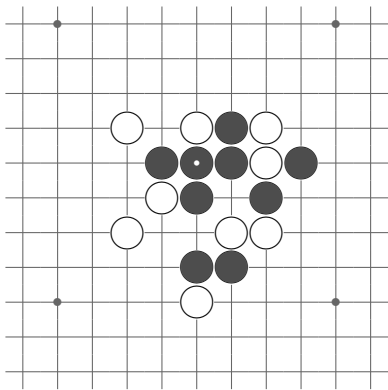


【問 1-7】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

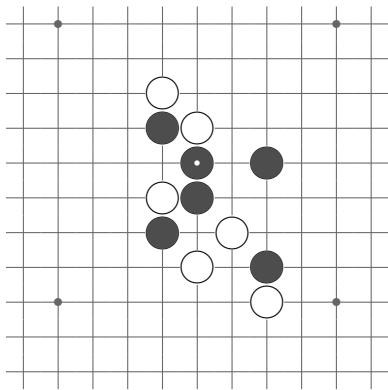
※ 初手で四ノビすると勝てません。



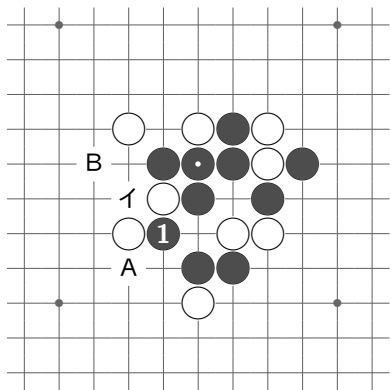
【問 1-8】白 1 後、ハ, (イハ) または (ロハ) にて X 点三々禁。



【問 1-9：黒先】すぐにそこに眼が
いけば優秀です。

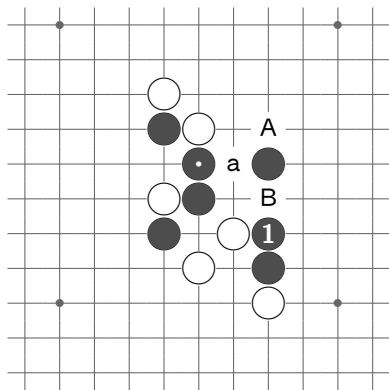


【問 1-10：黒先】どの手順が良
いでしょうか。



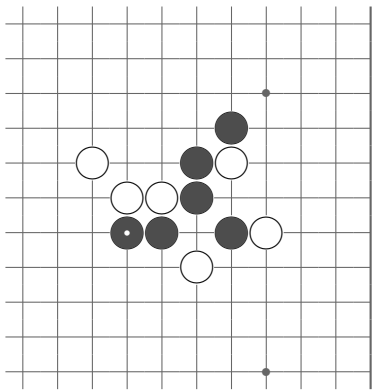
【問 1-9】黒 1 後、A または B の四三勝ち、あるいは (B イ) のノリ切り達四勝ち。

※ 初手で A は、白に 1 と四ノビされます。

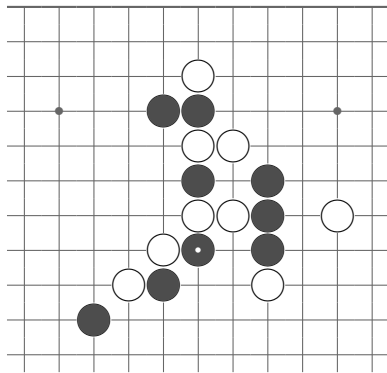


【問 1-10】黒 1 後、A の四三勝ち。

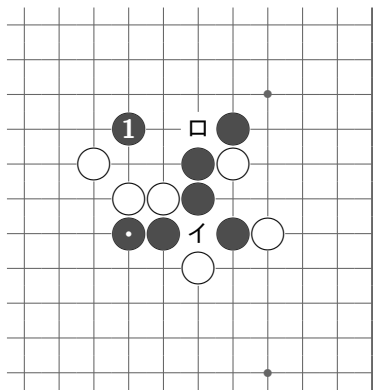
※ 初手で A は白 a と止められ、B は白 1 と止められます。



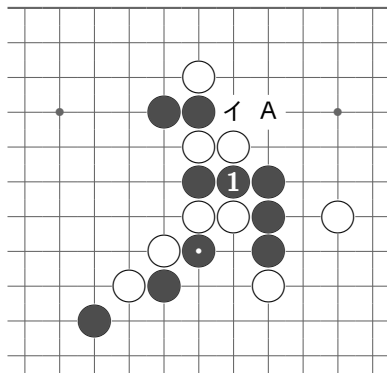
【問 1-11：黒先】四三を作る場所の見当をつけます。



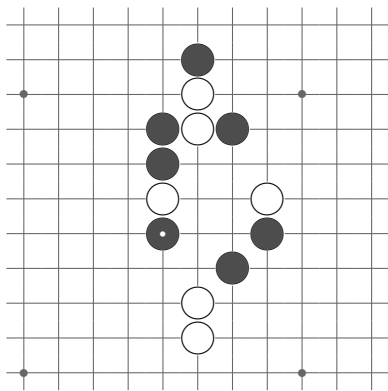
【問 1-12：黒先】ノリ手が邪魔しています。



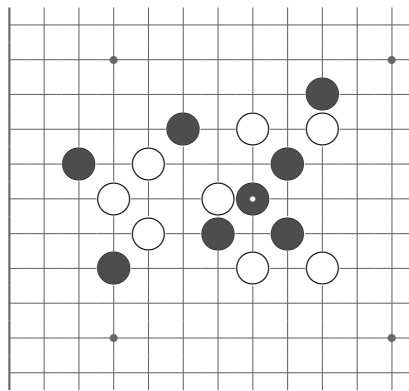
【問 1-11】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。
 # 先にイの四ノビ後の 1 でも勝ちですが、四ノビはできるだけ最後にするのが良い連珠感覚です。



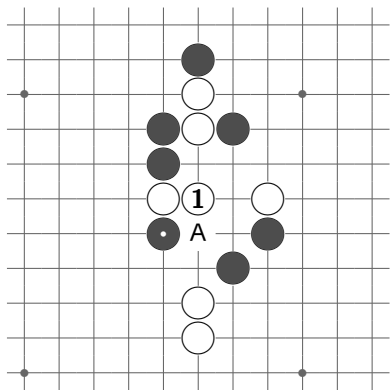
【問 1-12】黒 1 後、A の四三勝ち、または (A イ) でノリ切り達四勝ち。
 ※ 初手で A はノラれています。
 # ノリ手回避の三ですが、止められて別のノリ手が出現します。しかしこちらはノリ切りになっています。



【問 1-13：白先】いかにも作り物ですが。



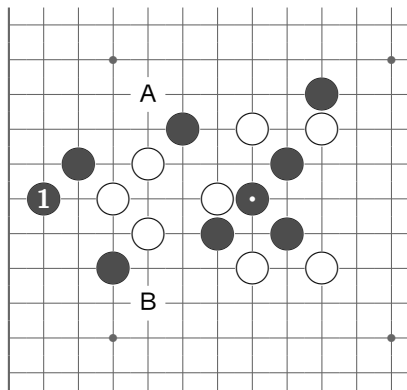
【問 1-14：黒先】盤面を広く見て考えます。



【問 1-13】白 1 後、A で四々勝ち。

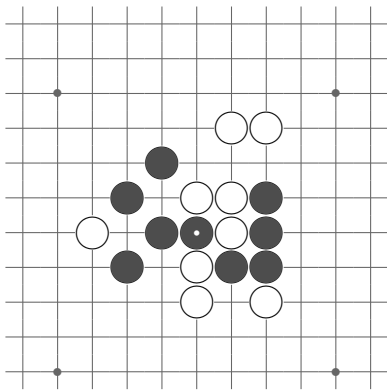
長蛇ちょうだの四々と呼ばれる珍しい形の四々です。

※ 初手で A は、黒 1 と止められます。

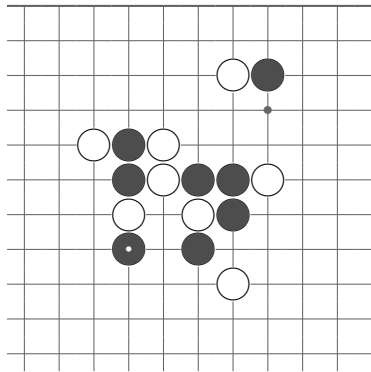


【問 1-14】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

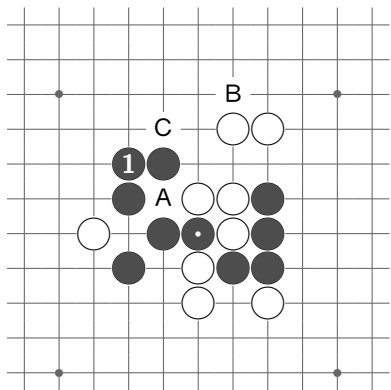
B の四ノビ後に 1 でも勝ちですが、スマートに決めたいものです。



【問 1-15：黒先】白の防ぎに耐えられるように打ちます。

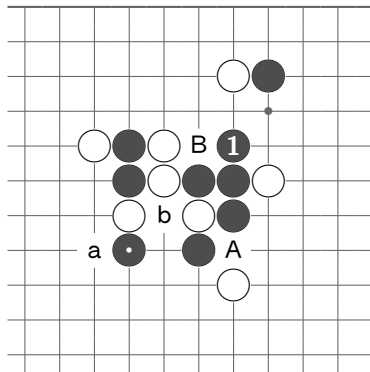


【問 1-16：黒先】どの三から始めますか？



【問 1-15】黒 1 後、A の四三勝ち。

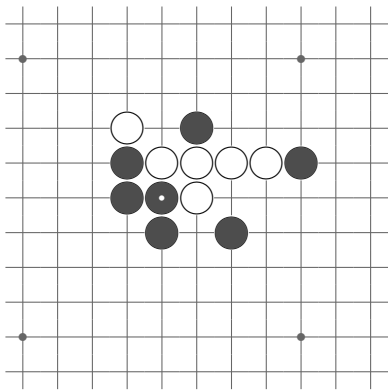
※ 初手で A は、白 B の四ノビ後に C と止められ、1 の点は四三々で打てません。



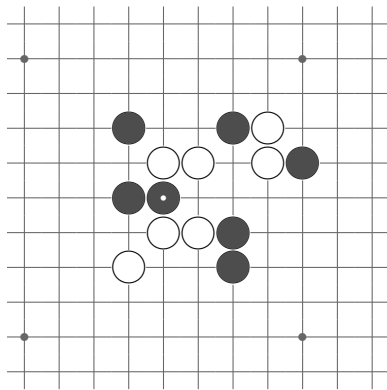
【問 1-16】黒 1 後 A の四三勝ち。

黒 1 の縦は夏止めの状態ですので、1 は否三々です。

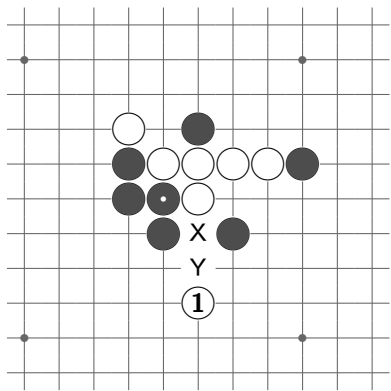
※ 初手で A は白 a と止められ、続いて B としても白 b とされます。



【問 1-17：白先】よく知られている手筋です。

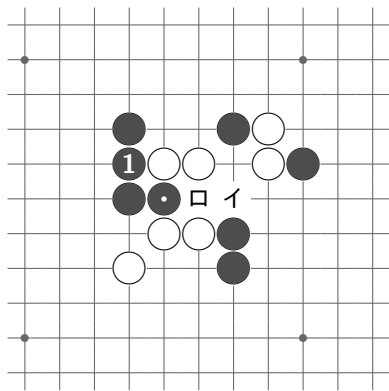


【問 1-18：黒先】黒には四三の点、白には四々の点があります。



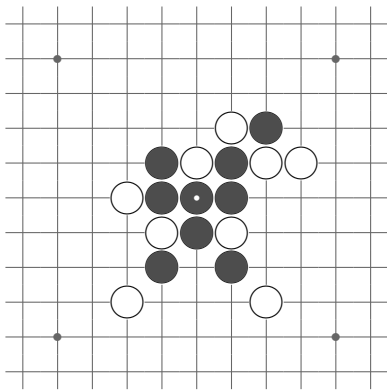
【問 1-17】白1で、次に Y または X で X 点または Y 点の三々禁となります。

二重禁の手筋で、黒が禁手を逃げることは多くの場合できません。

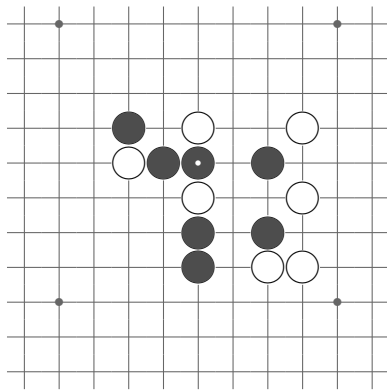


【問 1-18】黒1後、(イロ) でノリ切り達四勝ち。白の四ノビは無効。

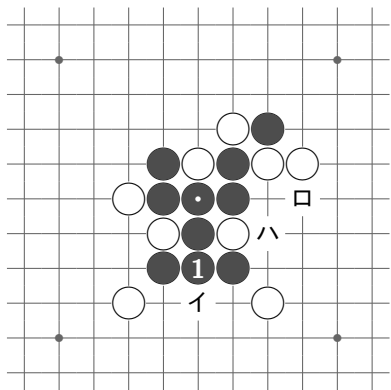
『四々にノリ手なし』なので、少なくとも一方の四は前もって消しておかねばなりません。



【問 1-19：黒先】ありがちなパターンです。

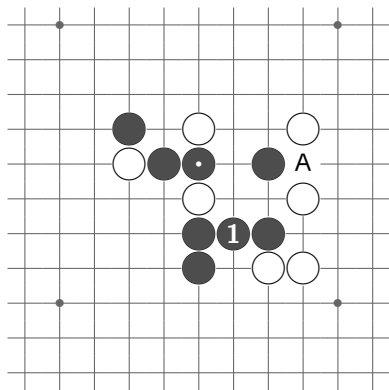


【問 1-20：黒先】白の四ノビは邪魔ですか？

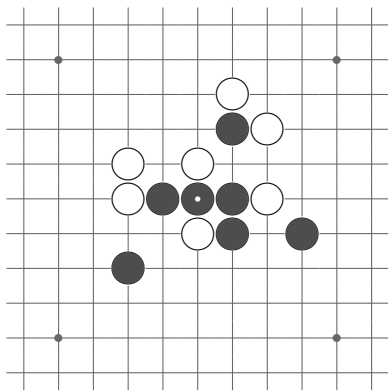


【問 1-19】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、または (イロハ) のノリ切り達四勝ち。

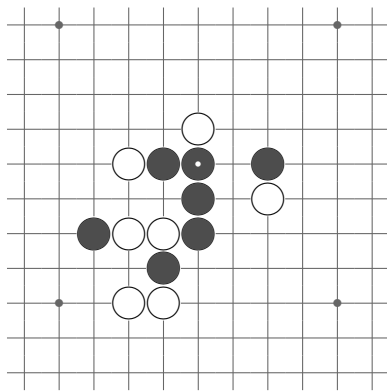
※ 初手でイの両ミセは、白 1 と防がれます。



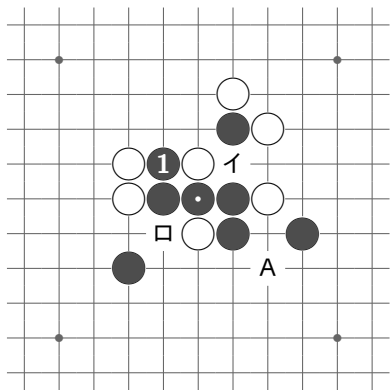
【問 1-20】黒 1 後、A の四三勝ち。
三は四で止められますが、その四を止めて四三です。



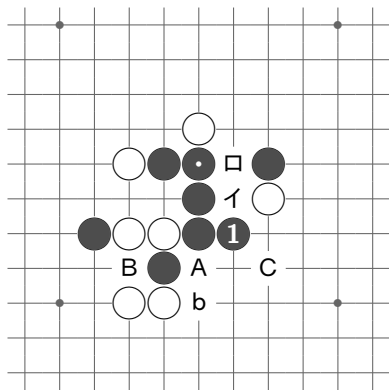
【問 1-21：黒先】どこで四三を作りましょうか？



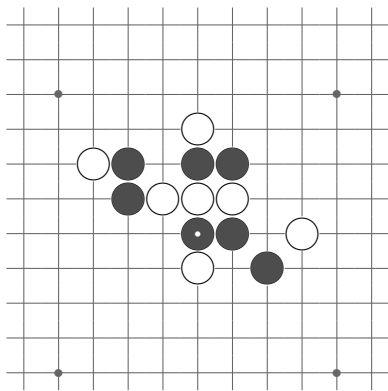
【問 1-22：黒先】白の四ノビの影響を予め考えに入れておきます。



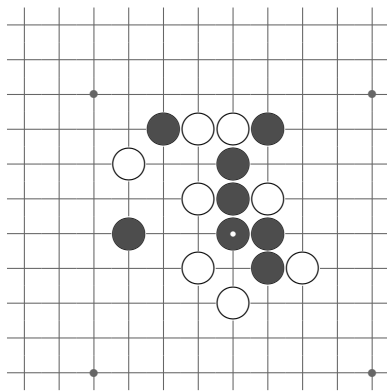
【問 1-21】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。
 ※ 初手で A は、白に 1 と止められます。



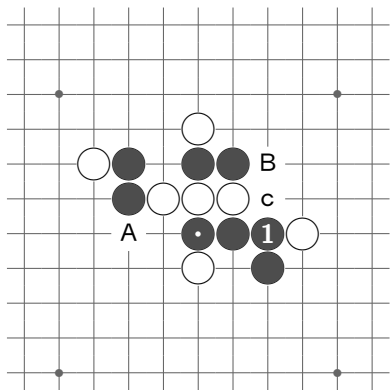
【問 1-22】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。白の四ノビは A とイが残るため、無効。
 ※ 初手で B は白 b と防がれ、C は四ノビで A 点を四々にされ失敗です。



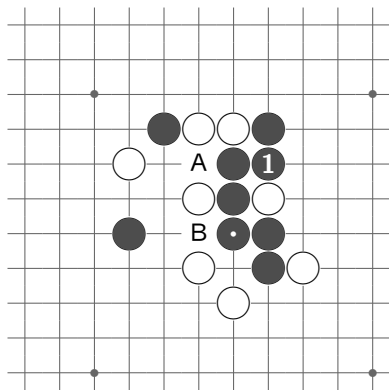
【問 1-23：黒先】左右をうまく使います。



【問 1-24：黒先】スマートに勝つようにしましょう。

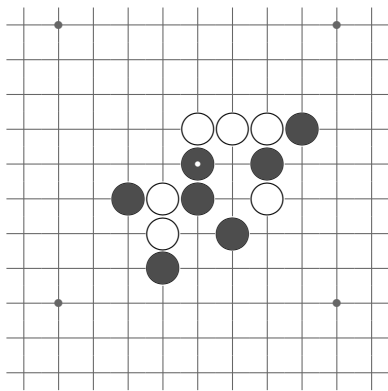


【問 1-23】黒 1 後、A または B の四三勝ち。白 c の四ノビは別の四追いができるため、無効。

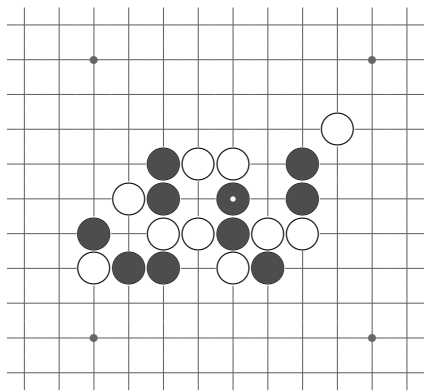


【問 1-24】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

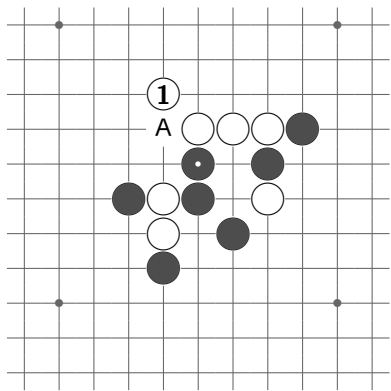
初手から A・1 としても勝ちですが、同じ勝ち筋であれば少ない石数で勝つようにしましょう。



【問 1-25：白先】四追いでしょうか。

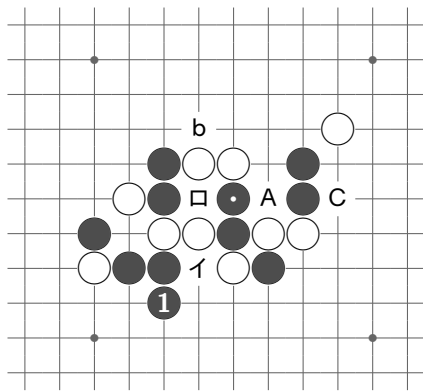


【問 1-26：黒先】黒には四々禁のために打てない場所があります。



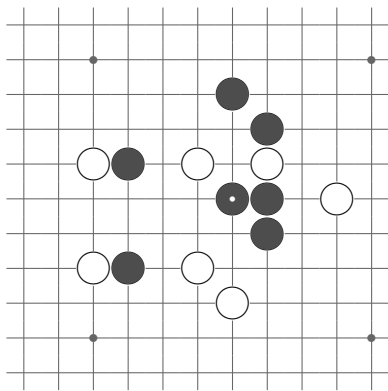
【問 1-25】 白 1 後、A で四々勝ち。

※ (A 1) の四追いはノラれています。

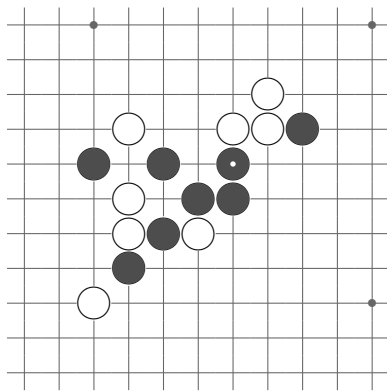


【問 1-26】 黒 1 後、(イロ) の達四勝ち。

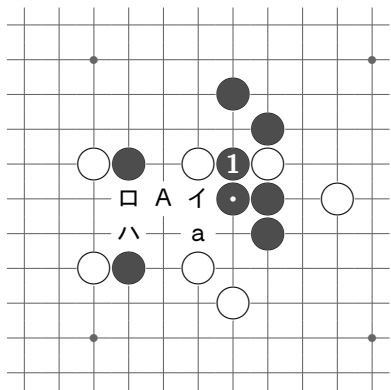
※ (A 1) はノラれています。初手でイは白 b と、C は白口とされます。



【問 1-27：黒先】読み切ってから打ち
ましょう。

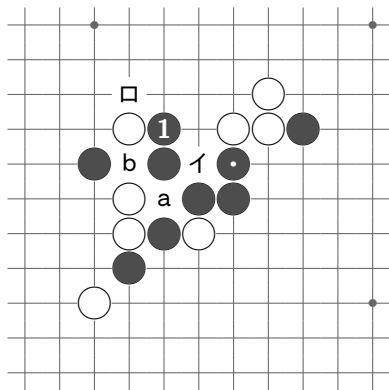


【問 1-28：黒先】白の剣先をうまくあ
しらってゴール。



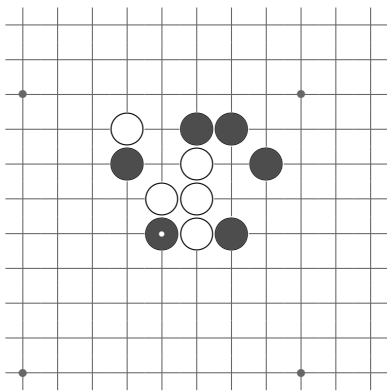
【問 1-27】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、または (イロハ) のノリ切り達四勝ち。白の四ノビは無効。

※ 初手で A は、白ロ・a またはロ・イで逆転です。初手でイは白 A、ロはハと止められます。

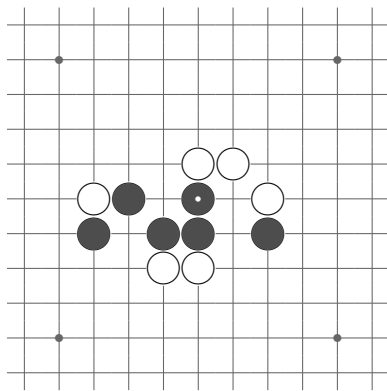


【問 1-28】黒 1 後、(イロ) でノリ押しえ達四勝ち。白の四ノビは無効。

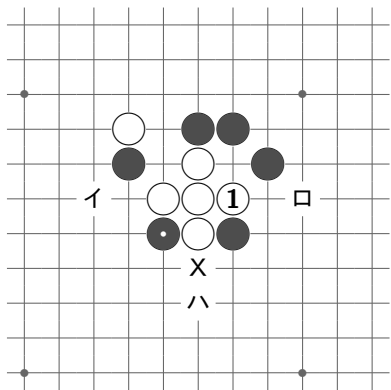
白も 2 から (a b) で四三を作りますが、ノリ押しえられてはいけません。



【問 1-29：白先】狙っていきましょう。

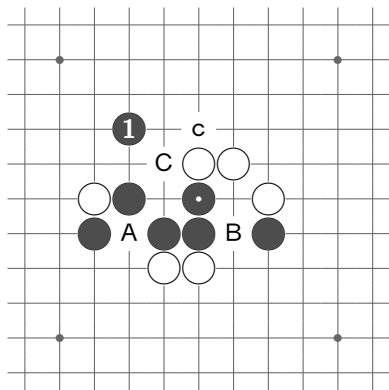


【問 1-30：黒先】三・四三でしょうか？



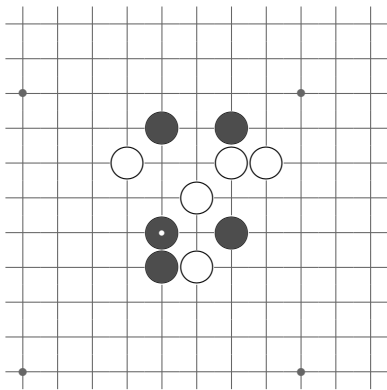
【問 1-29】白 1 後、(イハ) または (口ハ) にて X 点三々禁。

連の三を作り両側に黒石を打たせて勝つことのできる例です。

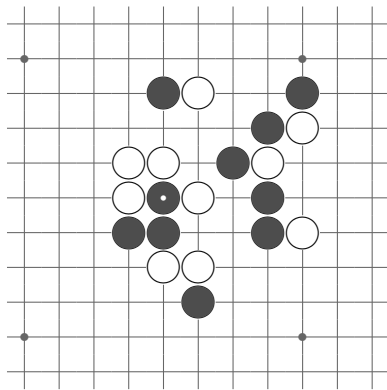


【問 1-30】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

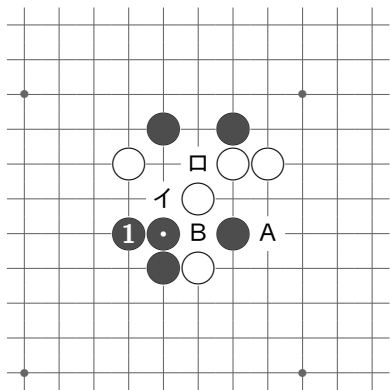
※ 初手で C は、白 c と止められます。



【問 1-31：黒先】白に四三の点がありますが、対処すべきでしょうか？

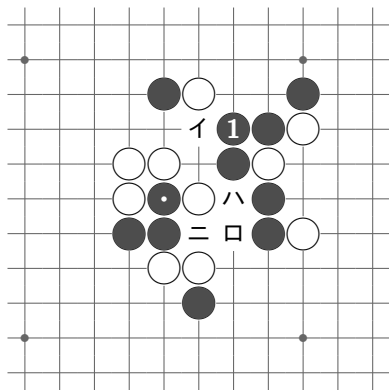


【問 1-32：黒先】ノリ手防ぎを乗り越えて...



【問 1-31】黒 1 後、(イロ) でノリ切り達四勝ち。白の四ノビは無効。

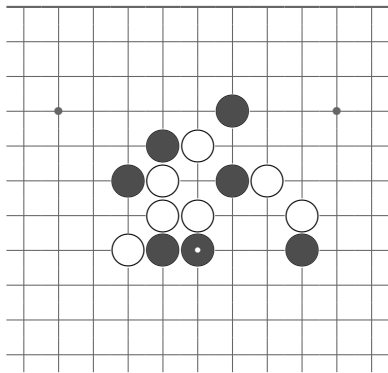
※ 初手で A や B は、白 1 と止められます。



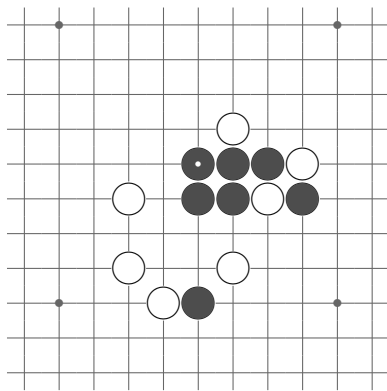
【問 1-32】黒 1 後、(イロハ) または (ロハ) でノリ切り達四勝ち。白の四ノビは無効。

黒 1 は、白の (ニイ) をノッています。

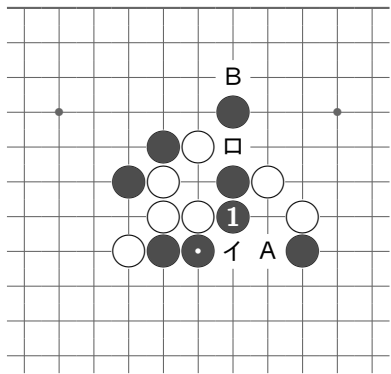
※ 先にイを打つと白勝ちになります。



【問 1-33：黒先】四追いではありません。

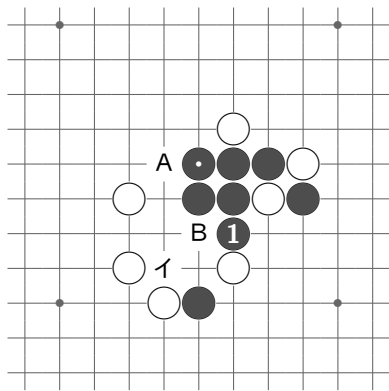


【問 1-34：黒先】四三の点がありますが、ノラれています。



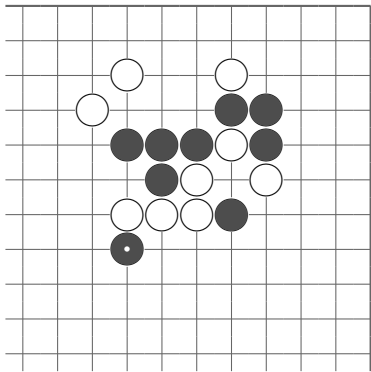
【問 1-33】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

※ 黒 (イロ B) は、ロの時にノラれます。

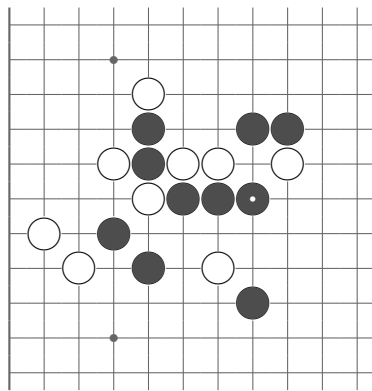


【問 1-34】黒 1 後、A または B の四三勝ち、あるいは (B イ) のノリ切り達四勝ち。

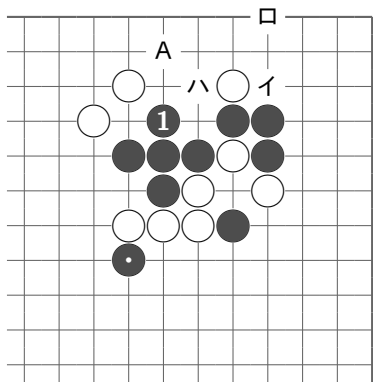
黒 1 は、ノラれていた B の四三を復活させ、A の四三をミせています。



【問 1-35：黒先】ノリ手防ぎをかわします。

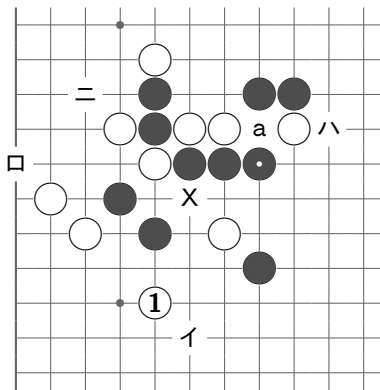


【問 1-36：白先】黒白の剣先が微妙に絡まっています。



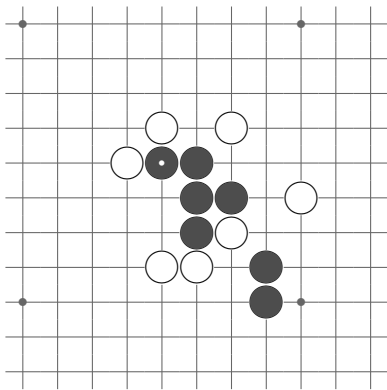
【問 1-35】黒 1 後、(イロハ) の四三勝ち。

※ ‘1 後 A’、‘A 後 1’、‘ハ後 (イロ 1)’ は、いずれもノラれています。

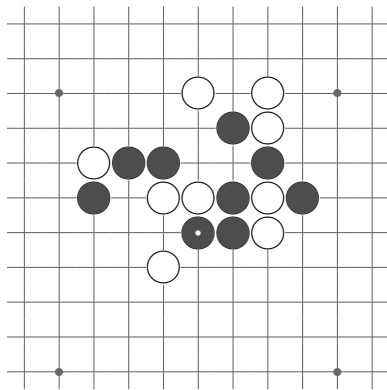


【問 1-36】白 1 後、(ハニ)、(イハニ) または (ロハニ) で X 点長連禁。

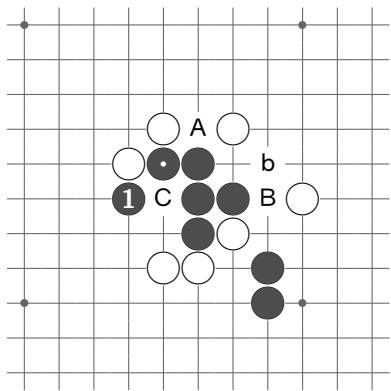
白 1 に対して黒は a にも X にも四ノビできず、長連禁を避けられません。



【問 1-37：黒先】その効果に気付くかどうかです。

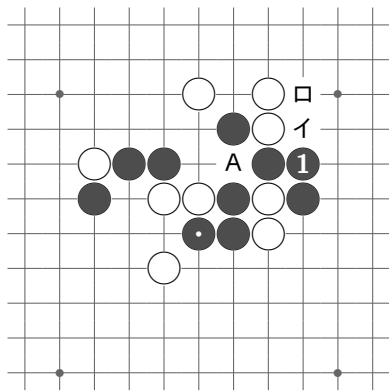


【問 1-38：黒先】四々の点を逆用します。



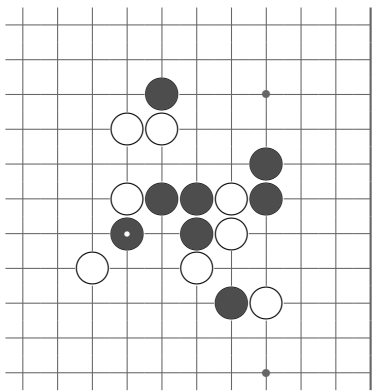
【問 1-37】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

※ 初手で B は白 b、C は白 B と止められます。

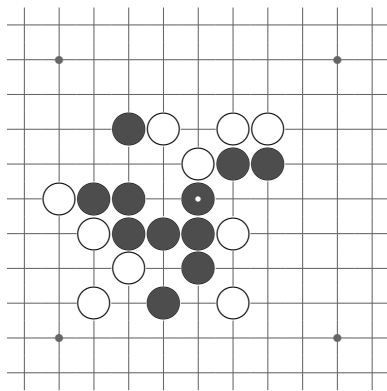


【問 1-38】黒 1 後、A の達四勝ち、あるいはイの四三勝ちまたは (イロ) のノリ切り達四勝ち。

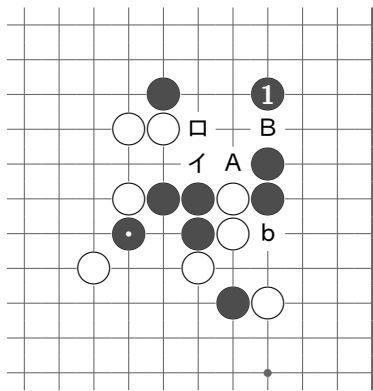
※ 初手からイ・1 と進めるのは、白口で逆転です。



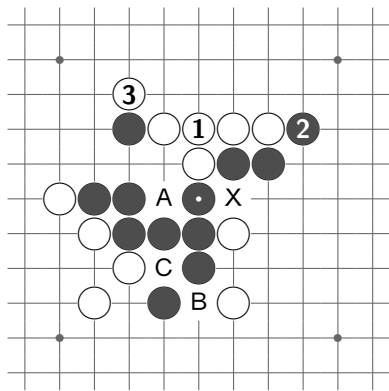
【問 1-39：黒先】初手をどこに打ちますか？



【問 1-40：白先】黒にはいくつもの勝ち筋があります。



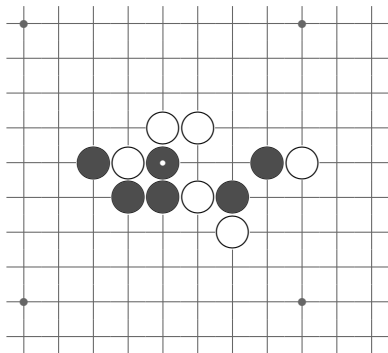
【問 1-39】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。
 ※ 初手でイは白口と、ロは A と防がれます。B は b と防がれます (四追いがあるように見えますが、四三々の関係で四三になりません)。



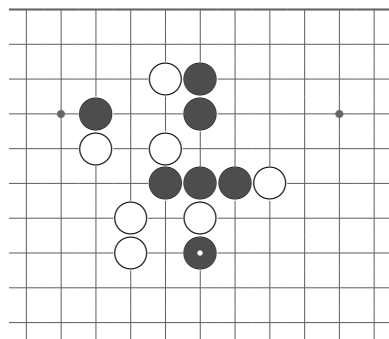
【問 1-40】白 1 の四ノビで黒 2 と打たせ、白 3 で X 点四々禁。
 # 黒の A はノラれており、B は C が四々で打てなくなっています。
 ※ 防ぐだけなら C が強防ですが、勝てる時にはしっかり勝ちましょう。

4 一手の詰連珠：レベル-2

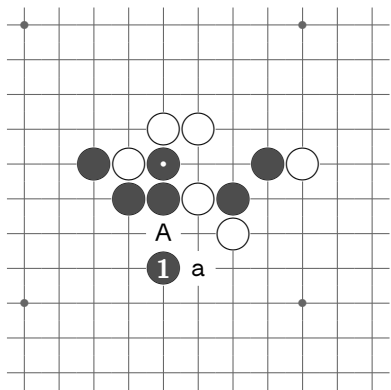
この節では中程度の難しさの“一手の詰連珠”を紹介します。



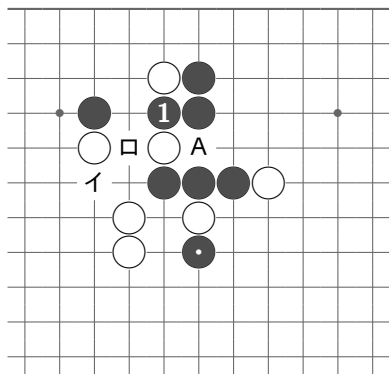
【問 2-1：黒先】どの三からいきますか？



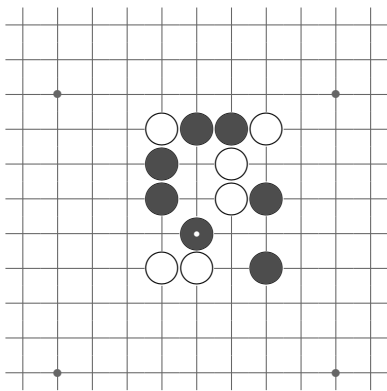
【問 2-2：黒先】怖いノリ手と怖くないノリ手があります。



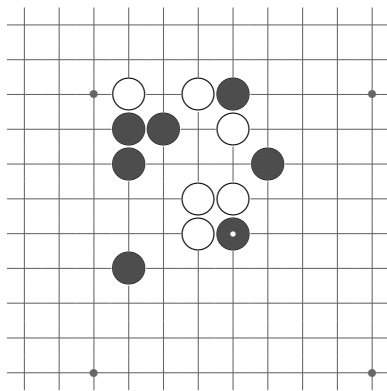
【問 2-1】黒 1 後、A の四三勝ち。
 ※ 初手で A は白 a と止められ、次に 1 はノラれます。



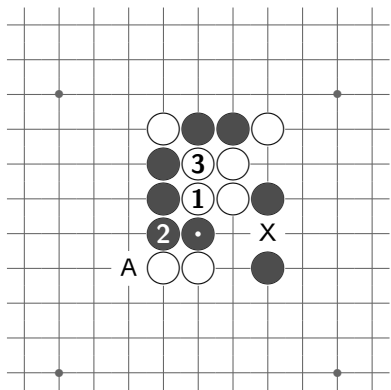
【問 2-2】黒 1 後、イの四三勝ち、または (イロ) でノリ切り達四勝ち。
 ※ ‘黒 1 後 A の四三勝ち’ というのは、怖いノリ手で失敗です。



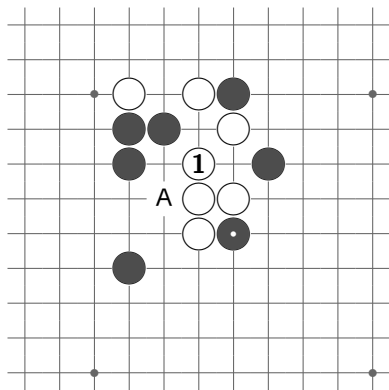
【問 2-3：白先】白の勝ち方の1つです。



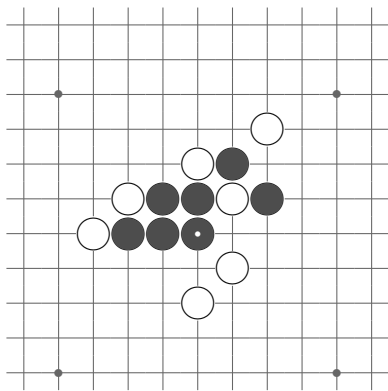
【問 2-4：白先】これも白の勝ち方の1つです。



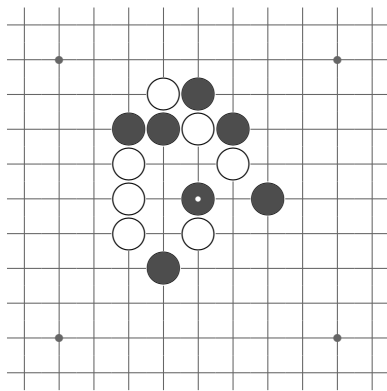
【問 2-3】白 3 で X 点三々禁。黒 2 反
対は、A で四三勝ち。



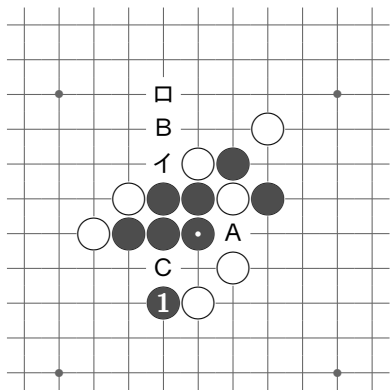
【問 2-4】白 1 後、A の三々勝ち。
※ 初手で A は勝てません。



【問 2-5：黒先】白のノリ手防ぎに注意して下さい。

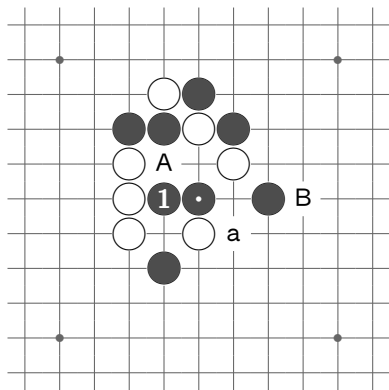


【問 2-6：黒先】三々は禁手ですが、『四三の卵』です。



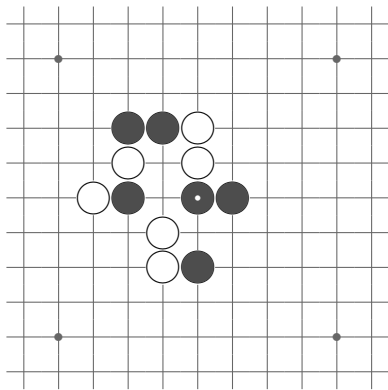
【問 2-5】黒 1 後、A または (イロ) の四三勝ち。

※ 初手で B は白イ、イは白 B と止められます。黒 C は、どちらに止められても勝てません。

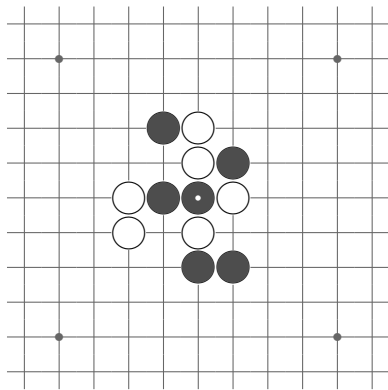


【問 2-6】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

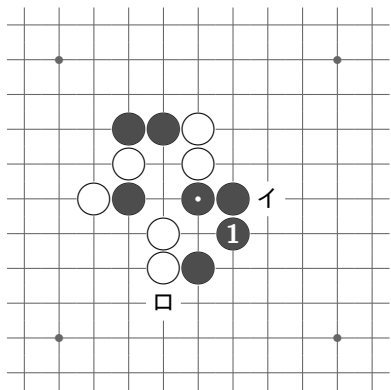
※ 初手で A は白 a と止められます。



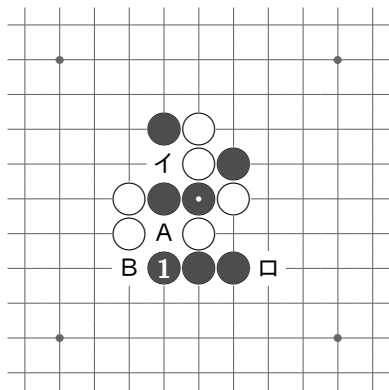
【問 2-7：黒先】ノリ手を怖がりすぎ
てはいけません。



【問 2-8：黒先】うまくいくものです。

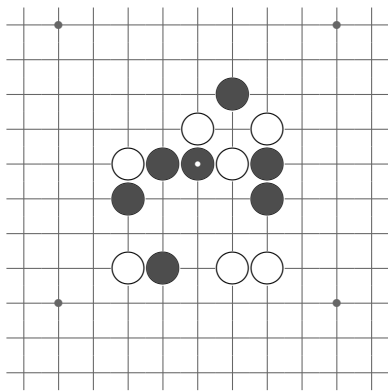


【問 2-7】黒 1 後、イの四三勝ち、または(イロ)でノリ押さえ達四勝ち。

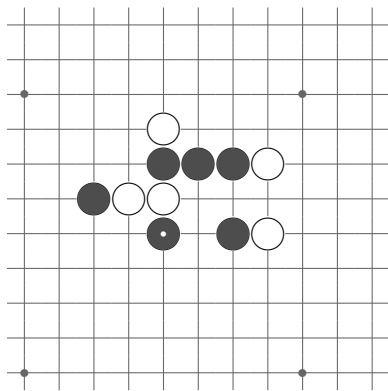


【問 2-8】黒 1 後、A または(イロ)で四三勝ち。

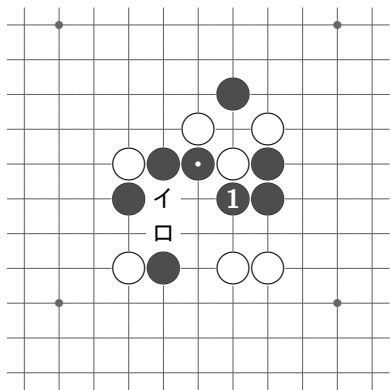
※ ‘黒 1 後、B または(イロ)’ ではありません。



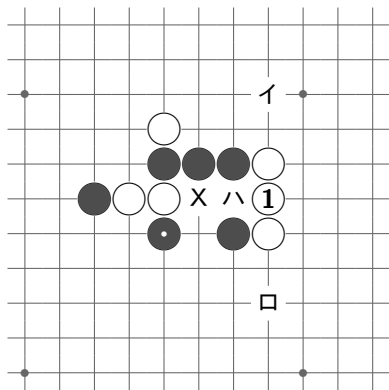
【問 2-9：黒先】いやな所に白の剣先
がありますが、うまくかわします。



【問 2-10：白先】すぐに四三等はでき
そうもありません。ということは...

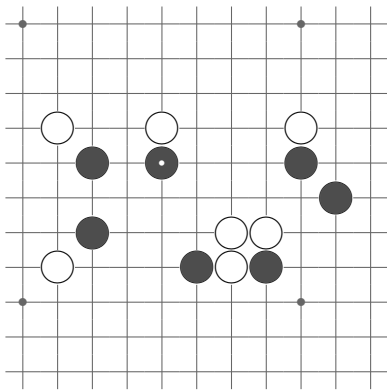


【問 2-9】黒 1 後、(イロ) でノリ切り
達四勝ち。白の四ノビは無効。

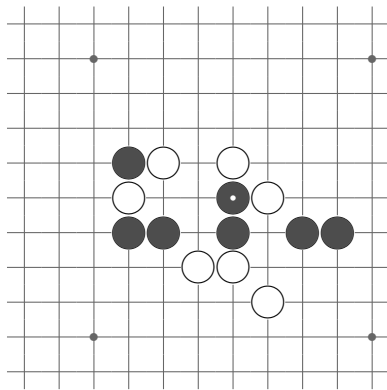


【問 2-10】白 1 後、(イハ) または (ロ
ハ) で X 点四々禁。

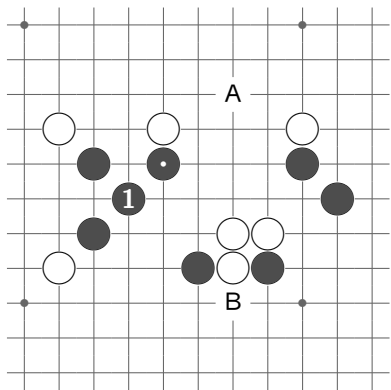
四々禁にする時の 1 つのパターン
です。



【問 2-11：黒先】完全に作り物の練習問題です。

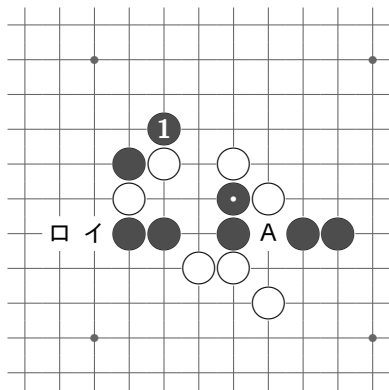


【問 2-12：黒先】これも作り物の練習問題です。



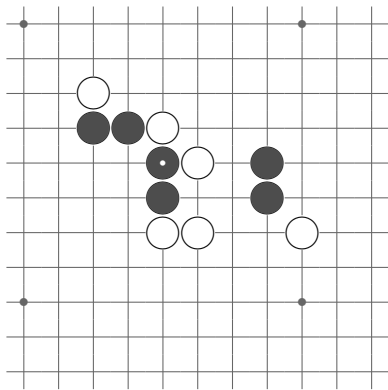
【問 2-11】 黒 1 後、A または B の四三勝ち。

※ 初手で A や B では勝てません。

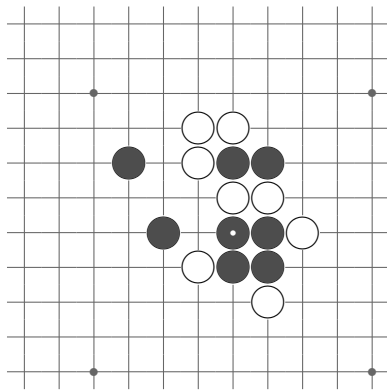


【問 2-12】 黒 1 後、A または (イロ) の四三勝ち。

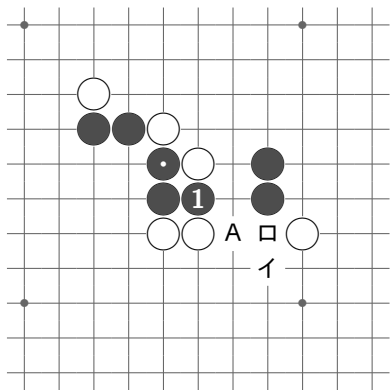
※ 初手で四ノビすると勝てなくなります。



【問 2-13：黒先】白のミセ手にどう対応しましょうか。



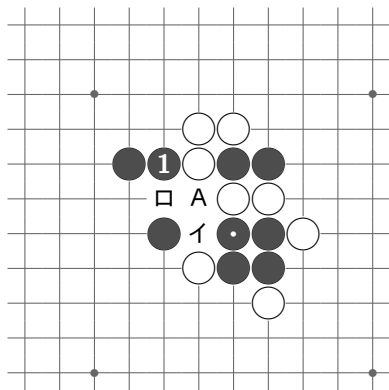
【問 2-14：黒先】白の四三はノッていますが、黒の三々の禁点でもあります。



【問 2-13】黒 1 後、(イロ) のノリ切り
達四勝ち。白の四ノビは無効。

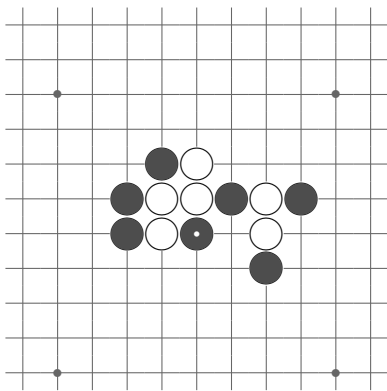
白の四三はノリ手で防ぎ、ノリ切
りとなる四三をミセる三の好手です。

※ 初手でロは白イと、A は白 1 また
はイと止められます。

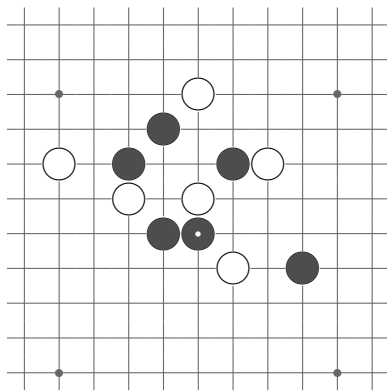


【問 2-14】黒 1 後、A または (イロ)
の四三勝ち。

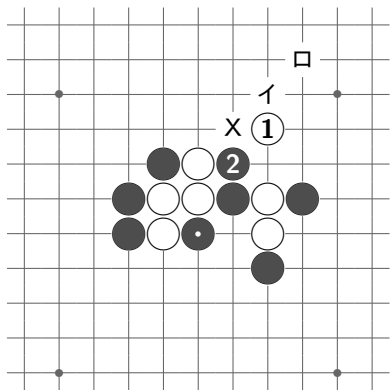
※ 初手からイ・ロと進めても、黒勝ち
はありません。



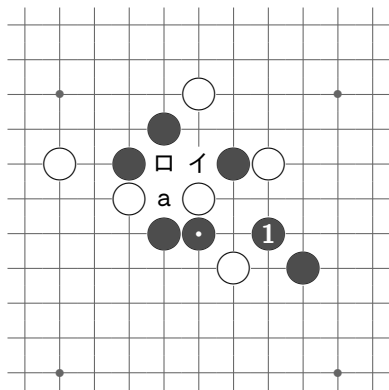
【問 2-15：白先】当然ながら禁手狙い
です。



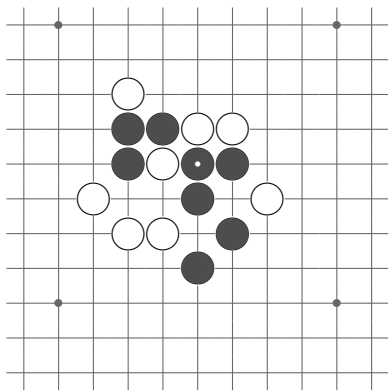
【問 2-16：黒先】ミセ手でしょうか、
三ヒキでしょうか。



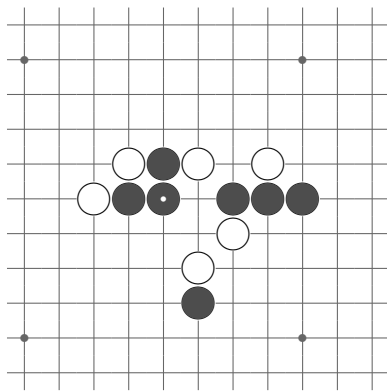
【問 2-15】黒 2 と止めさせ、(イロ) で X 点三々禁。2 で他は、四ノビで 2 と止めさせ、図と同様。



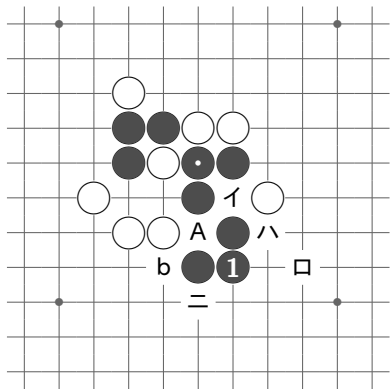
【問 2-16】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち。
 ※ 初手でイの両ミセやロの三ヒキは、白 a と止められます。



【問 2-17：黒先】絶好点に打ちます。



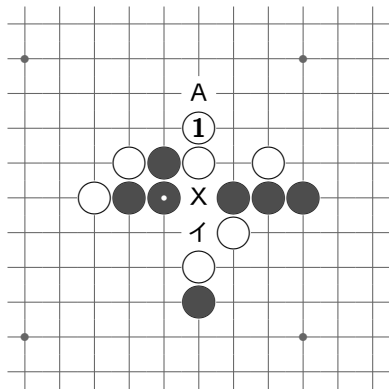
【問 2-18：白先】長連禁の筋を利用します。



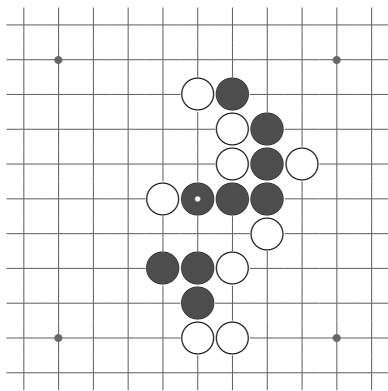
【問 2-17】 黒 1 後、A、(イロ) または (イハニ) の四三勝ち。

白 b の防ぎもあり、3 種類の勝ち方が必要です。

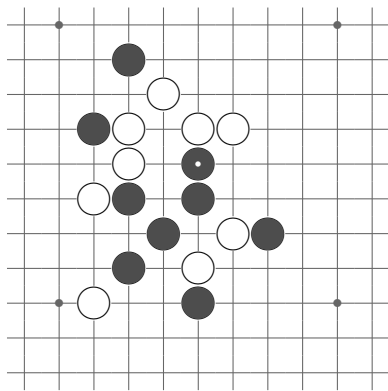
※ 初手でイは、白 1 と防がれます。



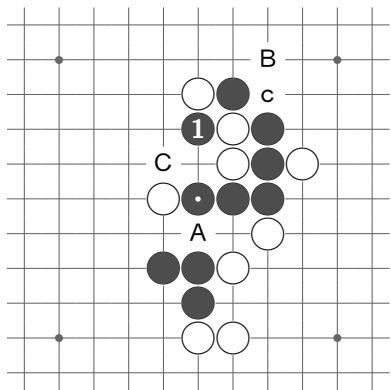
【問 2-18】 白 1 後、イで X 点長連禁、または A の三々勝ち。



【問 2-19：黒先】慣れてくれば簡単な問題です。



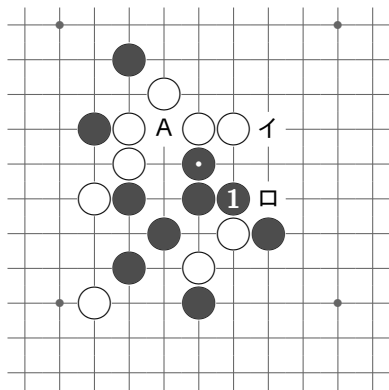
【問 2-20：黒先】白には四追いがあります。



【問 2-19】黒 1 後、A の達四勝ち、または B の四三勝ち。

黒 1 は A 点の四々禁を解除しています。

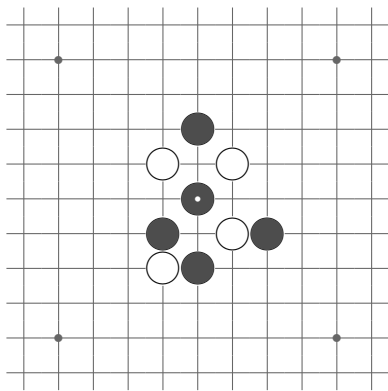
※ 初手で C は、白 c と防がれます。



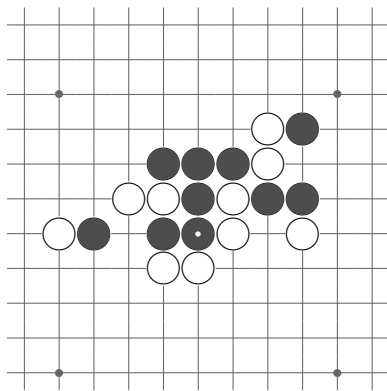
【問 2-20】黒 1 後 (イロ) で四三勝ち。

白は A で四三を作りますが、それをノッての四追いです。

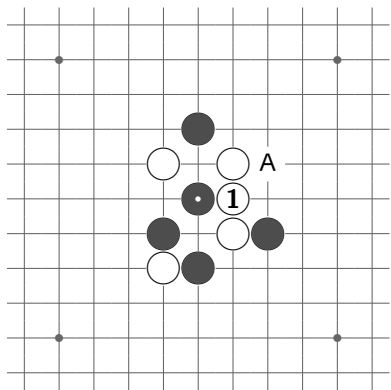
※ 先にイの四ノビをすると勝てません。



【問 2-21：白先】うまく勝ちを作って
下さい。

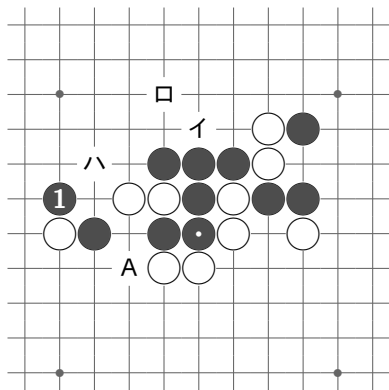


【問 2-22：黒先】黒の剣先の筋を伸ば
していくと...。



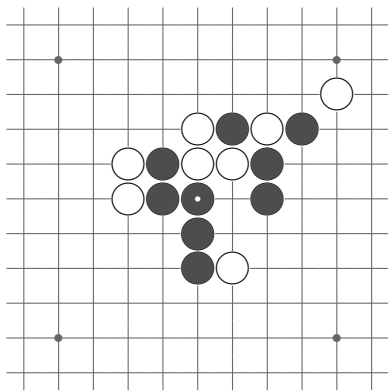
【問 2-21】 白 1 後、A の三々勝ち。

黒の剣先は役立ちません。

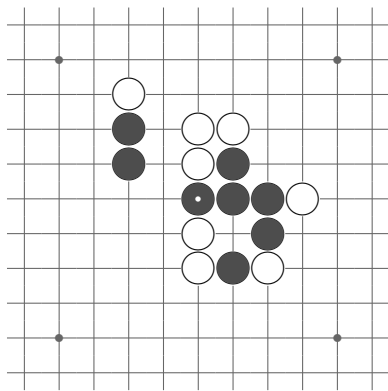


【問 2-22】 黒 1 後、A または (イロハ) の四三勝ち。

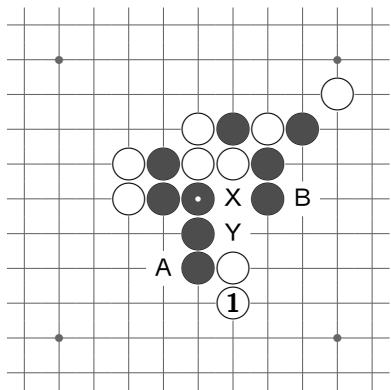
いくつかの四ノビをしてからでも勝ちですが、譜のようにスマートに決めてしまいたいものです。



【問 2-23：白先】黒には好形もあれば悪形もあります。

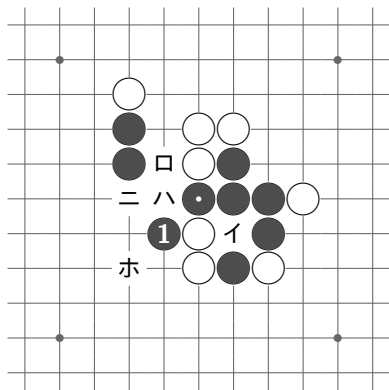


【問 2-24：黒先】ノリ手を避けて通ります。



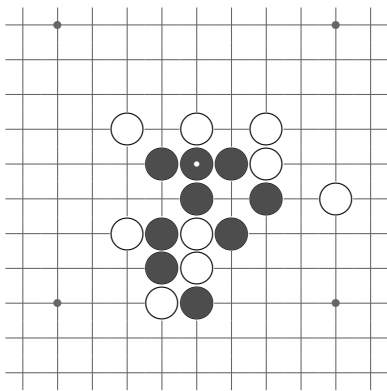
【問 2-23】白 1 で X 点の四々禁と Y 点の三々禁を狙います。黒にこの二重禁を防ぐ手段はありません。

黒には A と B に四三がありますが、いずれもノラれています。

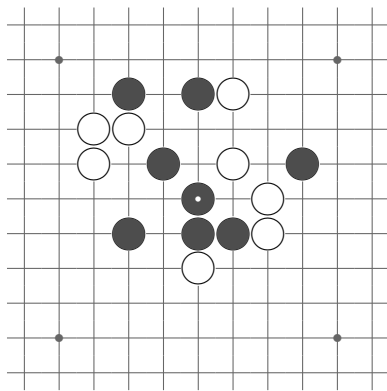


【問 2-24】黒 1 後、(イロハ) の四三勝ち。

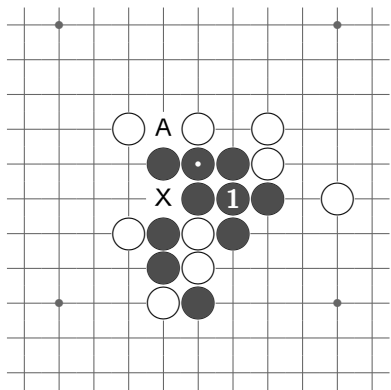
※ 初手からニ・ホと進めるのはノラれています。



【問 2-25：黒先】連珠のルールを理解
していれば簡単です。

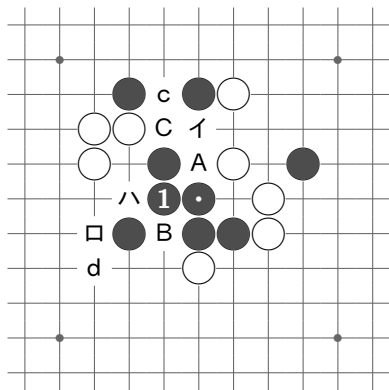


【問 2-26：黒先】強防にも注意を払っ
て下さい。



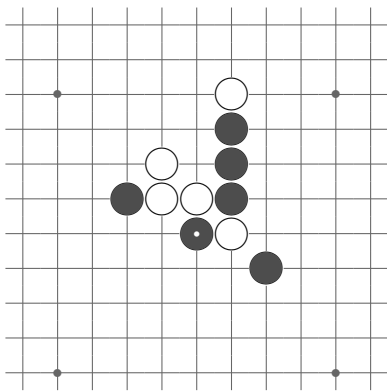
【問 2-25】 黒 1 後 A の四三勝ち。

黒 1 は X 点が四々のため縦の三だけです。

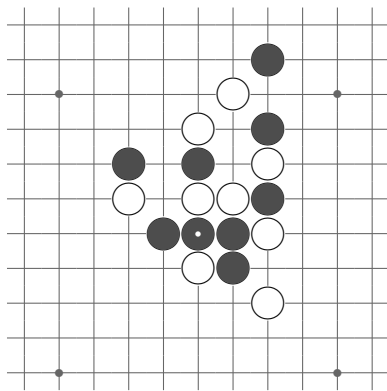


【問 2-26】 黒 1 後、A、B または (イロハ) の四三勝ち。2 の強防は C と d です。

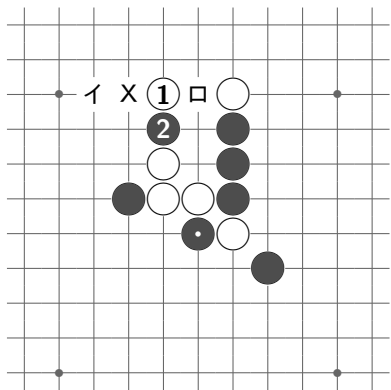
※ 初手で C は白 c と、ハは白イと防がれます。



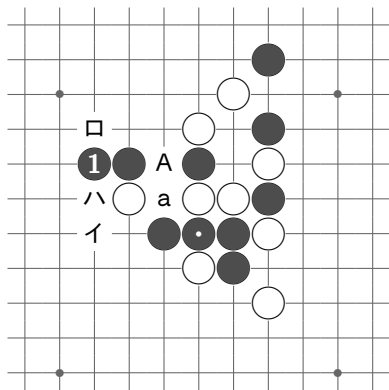
【問 2-27：白先】どこかに禁手が落ちていそうです。



【問 2-28：黒先】横にも斜めにもある白の剣先を邪魔と見るかどうか。



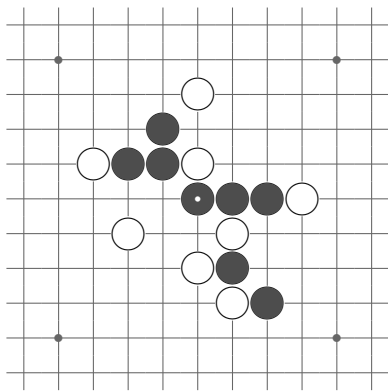
【問 2-27】黒 2 と止めさせ、(イロ) で X 点三々禁。2 で他は、四ノビで 2 と止めさせ、図と同様。



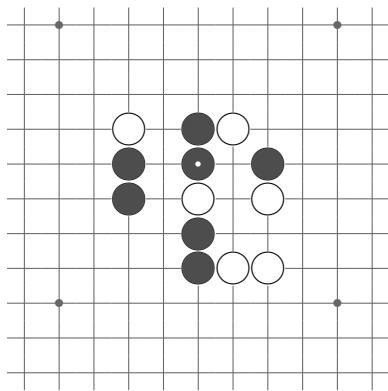
【問 2-28】黒 1 後、(イロハ) でノリ押さえ達四勝ち。白の四ノビは無効。

※ 初手で A は、白に a の四ノビ後に 1 と止められます。

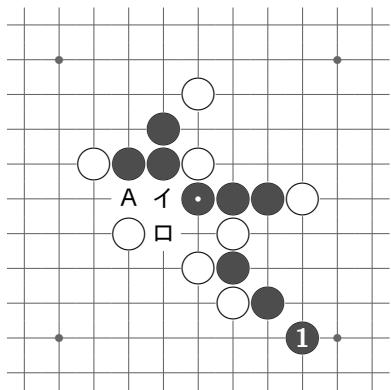
初手からイ・1 と進めても勝ちですが、同勝ち筋の 1 手増です。



【問 2-29：黒先】打ちたい点は残念ながら四々三です。

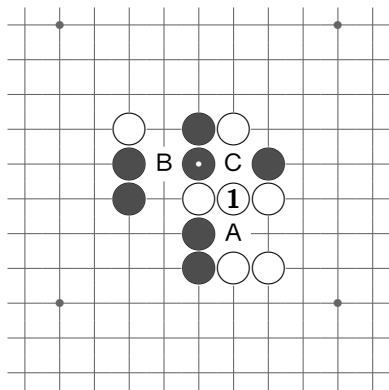


【問 2-30：白先】黒には四三の点があります。



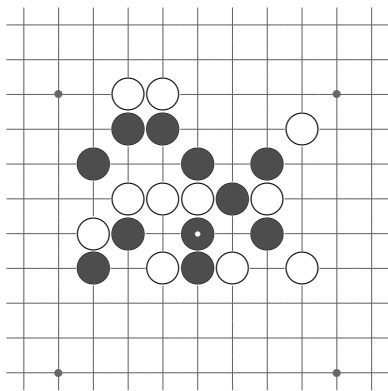
【問 2-29】黒 1 と三をヒケば、その瞬間にイ点が禁点でなくなり、(イロ)でノリ切り達四勝ちです。

白は 2 で、ロにも A にも四ノビできません。

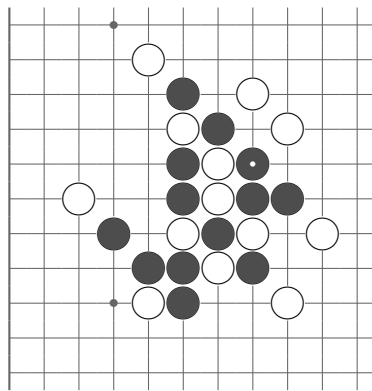


【問 2-30】白 1 後、A の四々勝ち。黒はどの時点でも四ノビが役立ちません。

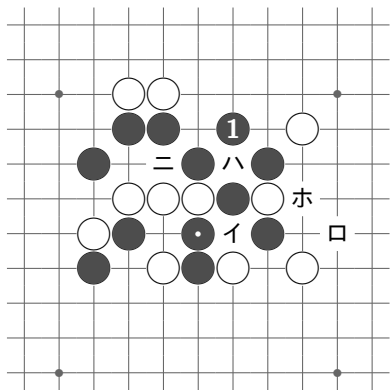
※ 初手で B や C と黒の四三を防ぎに
 いては勝てません。



【問 2-31：黒先】白のノリ手に対応可能かどうか確認して下さい。

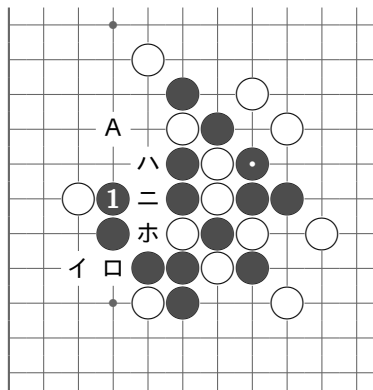


【問 2-32：黒先】ある定石変化のほぼ最終局面です。



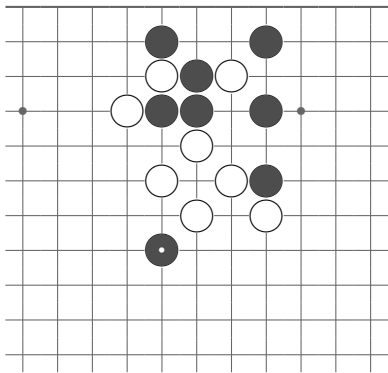
【問 2-31】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、または (イロハニホ) のノリ切り達四勝ち。

※ 初手でハは、ニと止められます。

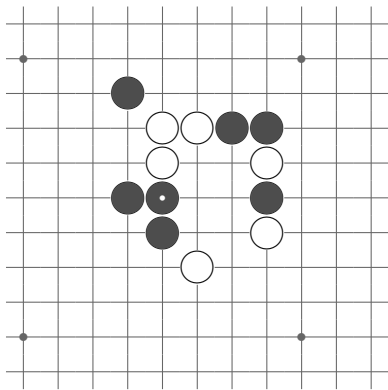


【問 2-32】黒 1 が A の四三、(イロ) と (ハニホ) の四追いを睨み必勝です。

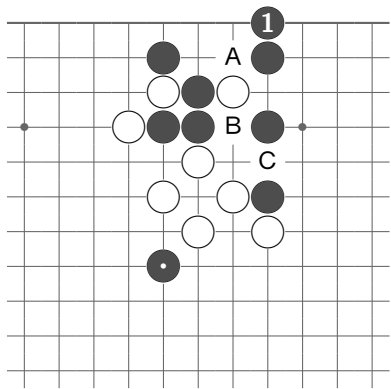
浦月定石の一変化図で、複数の四追いを用意する両フクミ手の典型例として知られています。



【問 2-33：黒先】四三らしく見える点
があります。

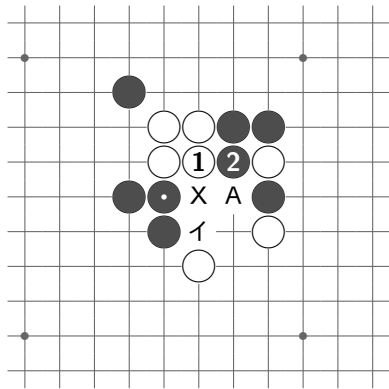


【問 2-34：白先】黒に四三の点があり
ます。



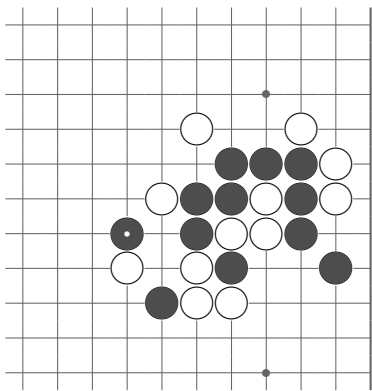
【問 2-33】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

※ 初手で B は C が四々のため、C は B が四々のため、いずれも四三ではありません。

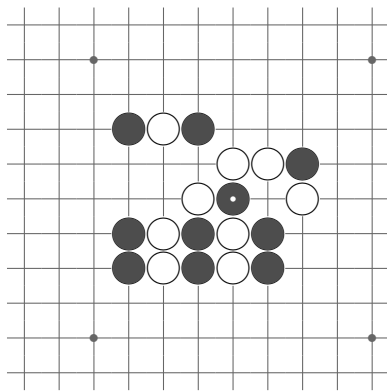


【問 2-34】黒 2 と打たせ、白 3 をイで X 点四々禁。黒 2 では X にも A にも四ノビできません。

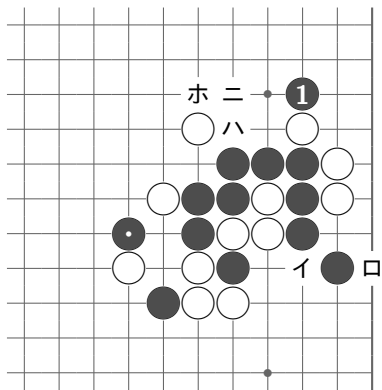
※ 白 3 から (A イ) は、ノラれています。



【問 2-35：黒先】上辺だけ、下辺だけでは勝てません。

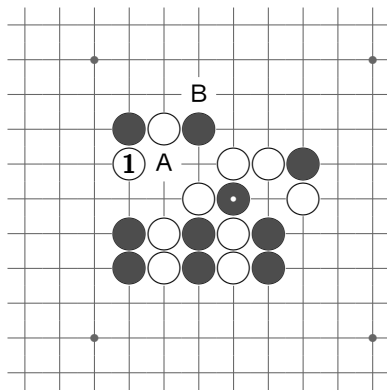


【問 2-36：白先】白の特権を使います。



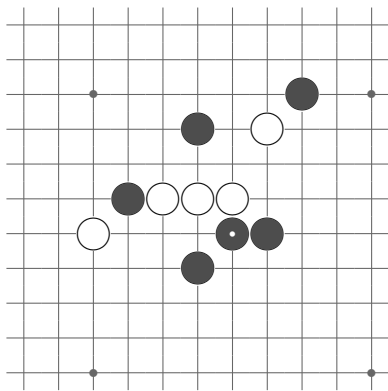
【問 2-35】黒 1 後、(イロハニホ) の四三勝ち。

右下の勢力を上部に波及させる筋でした。

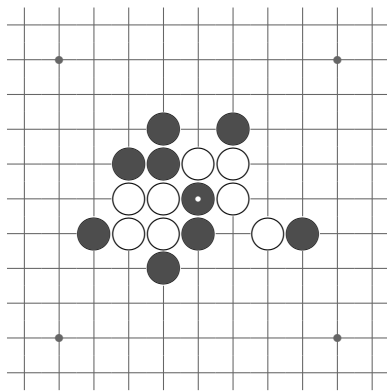


【問 2-36】白 1 後、A の四々勝ち、または B の三々勝ち。

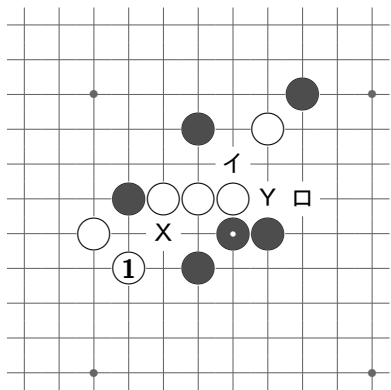
※ 初手で B だと、黒 1 と先に四ノビされます。



【問 2-37：白先】禁手を打たせるように進めます。

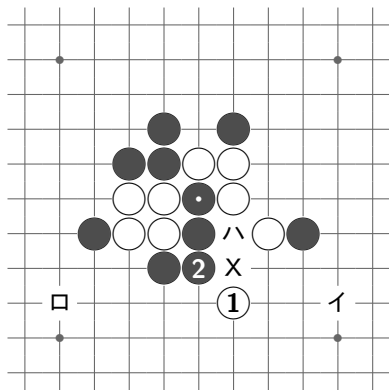


【問 2-38：白先】綺麗に決まります。

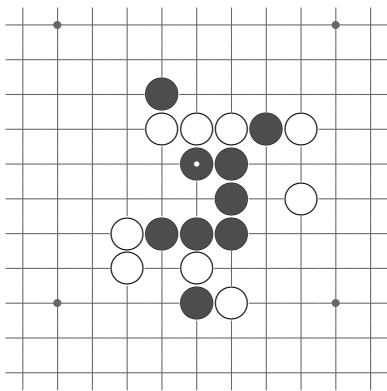


【問 2-37】白 1 後、イで X 点三々禁、あるいは (X 口) または口で Y 点三々禁。

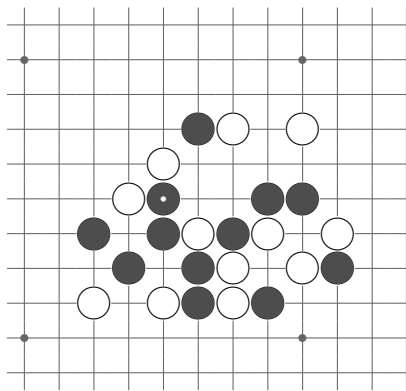
白 1 はある意味で X 点と Y 点での二重禁を狙うもので、黒は防ぐことができません。



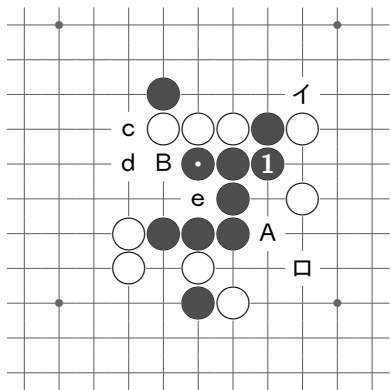
【問 2-38】白 3 より (イロハ) で X 点が一直接線上にできる四々禁。2 で他は、四ノビで 2 と止めさせ、図と同様。



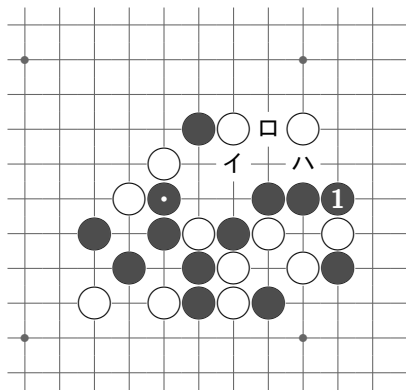
【問 2-39：黒先】三・四三では簡単すぎます。



【問 2-40：黒先】四三のできそうな筋が見つければ、初手も見つかります。



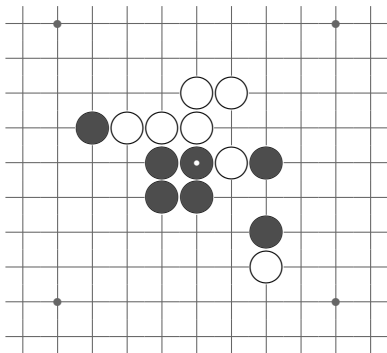
【問 2-39】黒 1 後、A の四三勝ち、または (イ A ロ) で四と三が残る勝ち。白の四ノビは意味がなく、無駄。
 ※ 初手で B は、白 c・d の四ノビ後に e 等と防がれます。



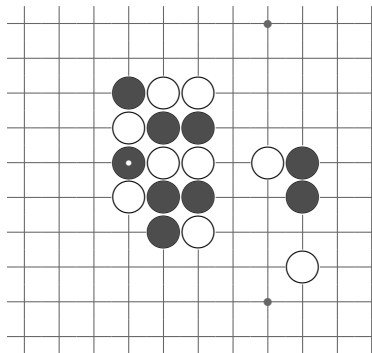
【問 2-40】黒 1 後、(イロハ) の四三勝ち。
 # 長連筋を敢えて作る打ちづらい黒 1 が好手。

5 一手の詰連珠：レベル-3

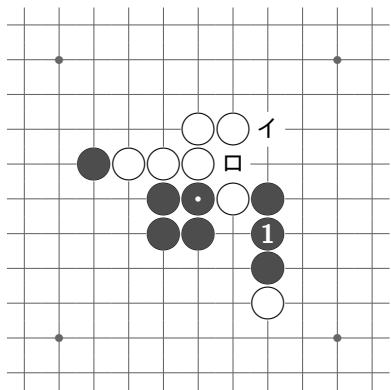
この節では“一手の詰連珠”の中では難しめの問題を紹介します。



【問 3-1：黒先】白の四三が見えていますが、どう対処しますか？

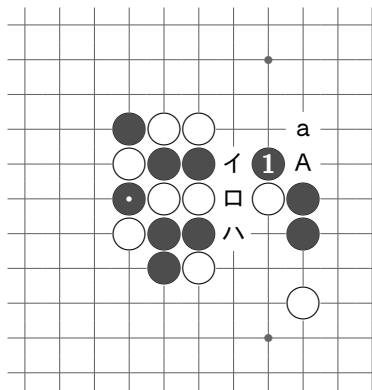


【問 3-2：黒先】白の防ぎにも注意。



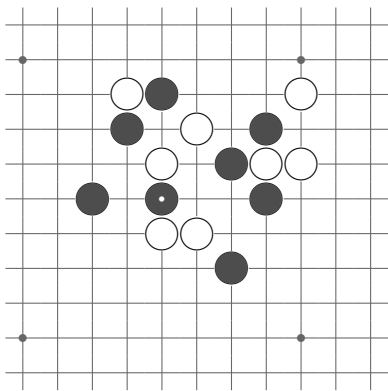
【問 3-1】黒 1 後、(イロ) のノリ切り
達四勝ち。白の四ノビは無効。

白は四三を作りたくてもノラれて
おり、三を止めるしかありません。

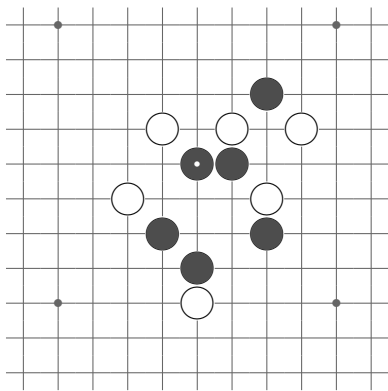


【問 3-2】黒 1 後、A または (イロハ)
の四三勝ち。

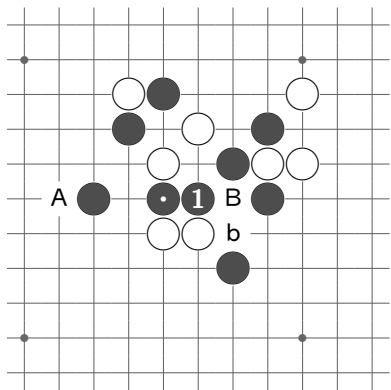
※ 初手で A は、白 a と止められます。



【問 3-3：黒先】三々や三々らしきものはあと少しで四三です。

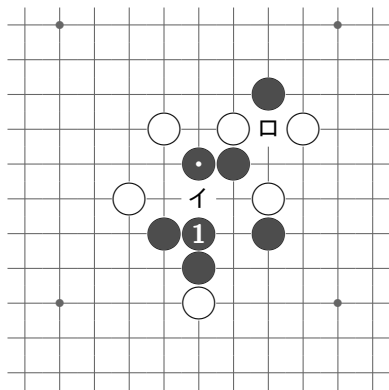


【問 3-4：黒先】白の剣先が目障りですが、気にし過ぎてはいけません。



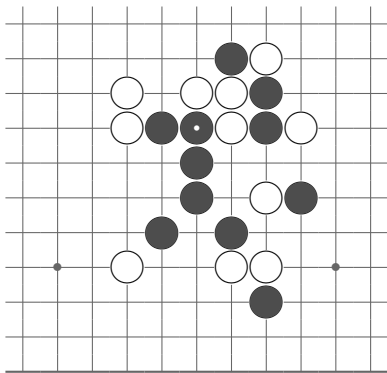
【問 3-3】黒 1 後、A または B の四三勝ち。

※ 初手で A は三々禁です。B は三々禁ではありませんが、白 b と止められます。

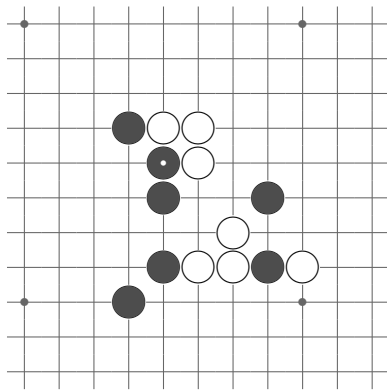


【問 3-4】黒 1 後、(イロ) のノリ切り達四勝ち。白の四ノビは無効です。

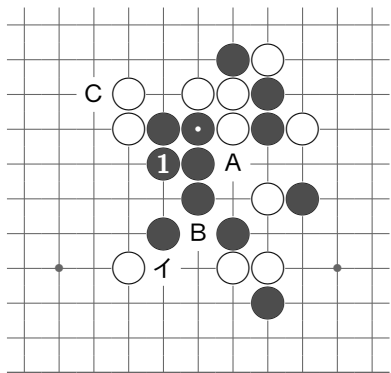
白は剣先を生かして四三を防止したいのですが、黒に四か三ができてしまいます。



【問 3-5：黒先】状況を把握して好手を打ちます。



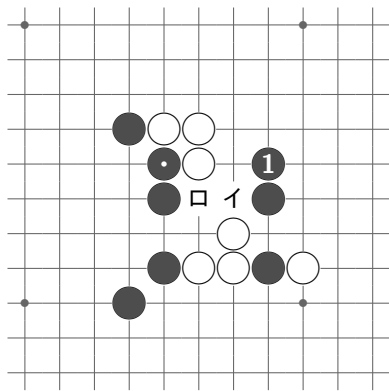
【問 3-6：黒先】このような状況でも黒勝ちにできます。



【問 3-5】黒 1 後、A または (イ B) の四三勝ち。

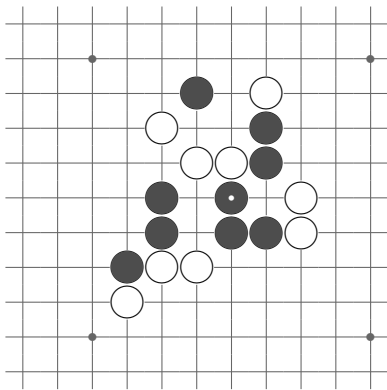
白には上下に剣先がありますが、黒 1 はその活用を制限しています。

※ 初手でイは、白 C の四ノビ後に B に防がれます。

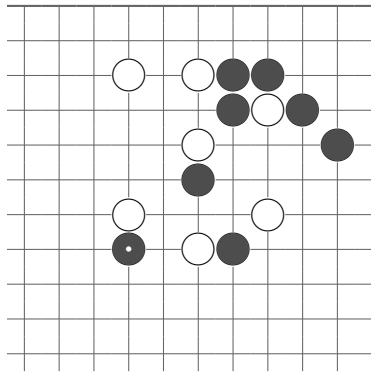


【問 3-6】黒 1 後、(イロ) でノリ切り達四勝ち。

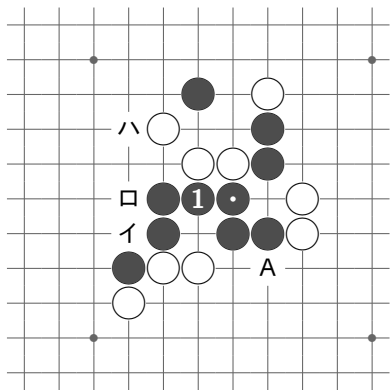
白も四三を作りますが、黒は一足早く達四です。



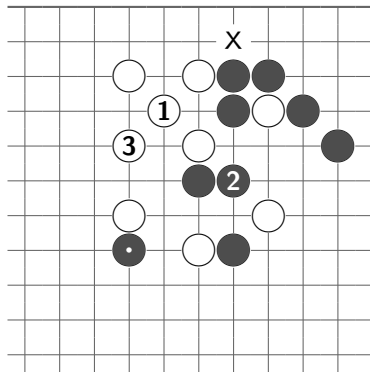
【問 3-7：黒先】見合いにします。



【問 3-8：白先】黒には三があり、白の追い手は限られています。

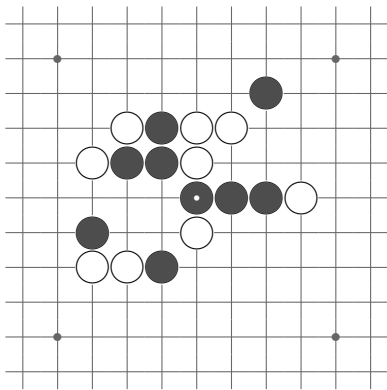


【問 3-7】黒 1 後、A または (イロハ) で四三勝ち。

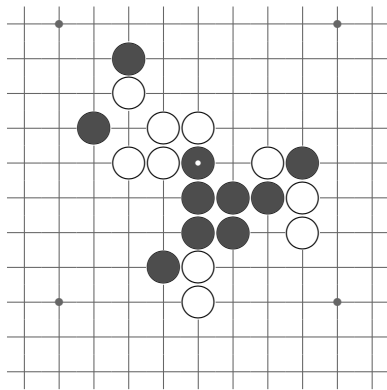


【問 3-8】白 1 の四ノビで黒 2 と打たせ、3 で X 点四々禁です。

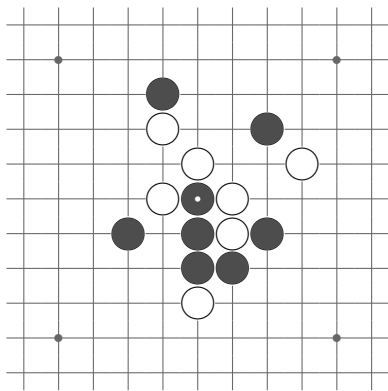
黒の縦は長連筋で三でなく、斜めは一端が四々の夏止めになっていて三ではありません。



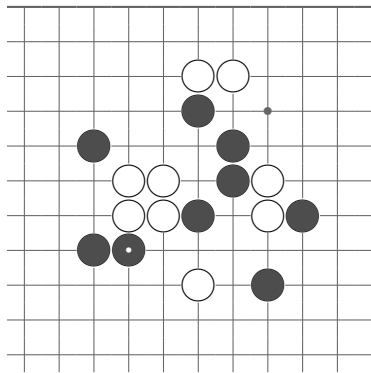
【問 3-9：黒先】四々禁を狙われています。



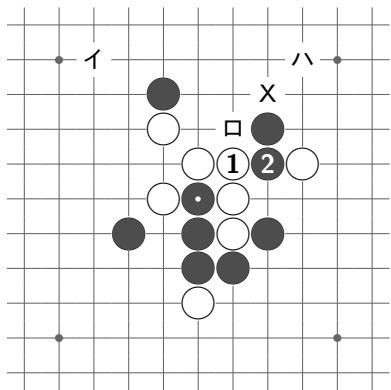
【問 3-10：黒先】勝ち筋らしきものはいくつかあります。



【問 3-11：白先】四三でしょうか、禁手でしょうか。

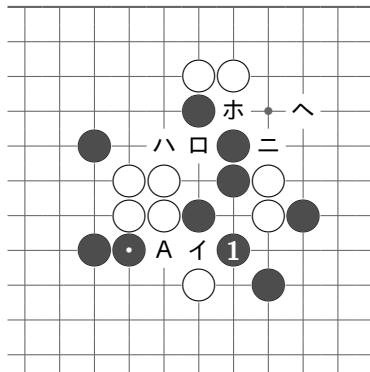


【問 3-12：黒先】最後まで読み切って初手を打って下さい。



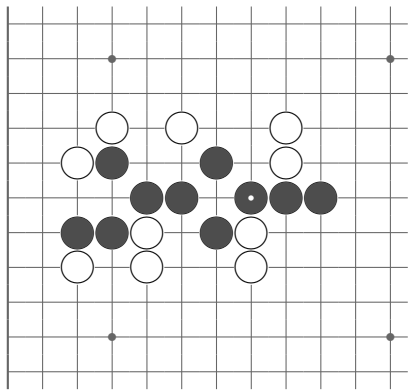
【問 3-11】 白 1 で黒 2 と打たせ、(イロハ) で X 点四々禁。2 で他は、四ノビで 2 と打たせ、図と同様。

直交する四々禁で、現われやすい形です。

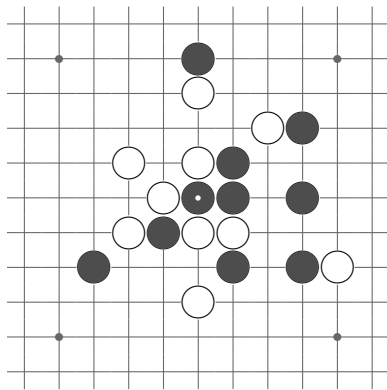


【問 3-12】 黒 1 後、A または (イロハニホへ) の四三勝ち。

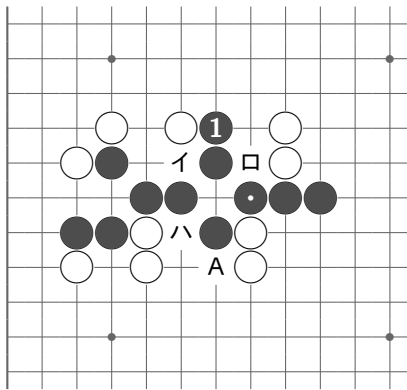
※ 初手でロやハは、白 A で白勝ちになります。



【問 3-13：黒先】黒の長連でも五と同時であれば勝ちです。

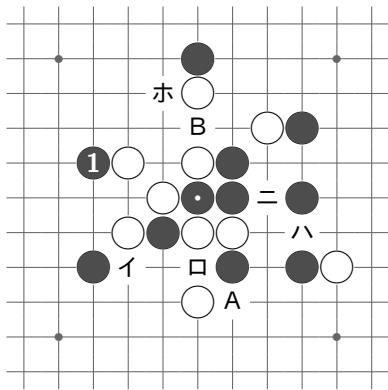


【問 3-14：黒先】全体を広く見て、正解手を見つけて下さい。



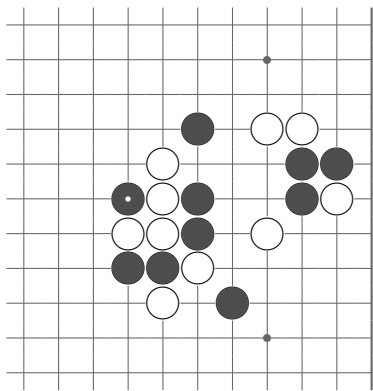
【問 3-13】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、あるいは A の四三勝ちまたは (Aハ) のノリ切り達四勝ち。

※ 初手で A は、白ハと止められます。

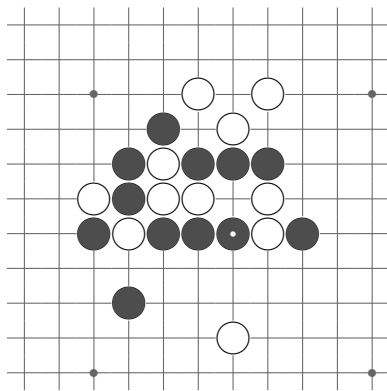


【問 3-14】黒 1 後、(イロ) または (ハニホ) の四三勝ち。

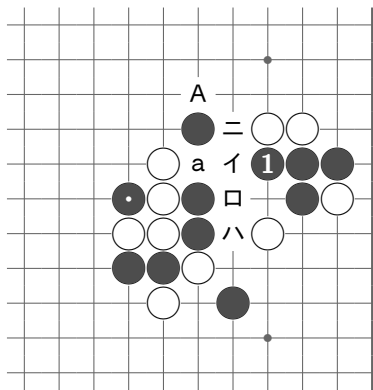
※ 初手で A は白ロと、ホは B 等と防がれます。



【問 3-15：黒先】狭いけれど勝ちを作ります。

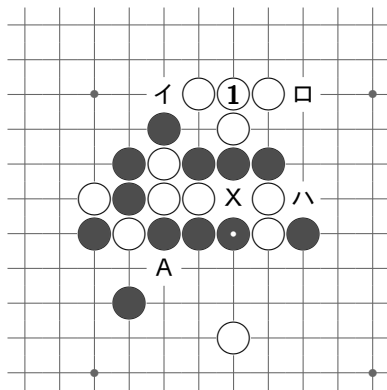


【問 3-16：白先】互いの剣先が絡み合っています。

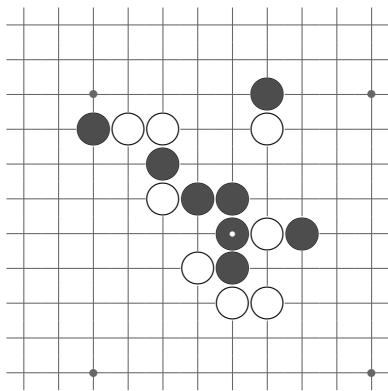


【問 3-15】黒 1 後、A または (イロハニ) の四三勝ち。

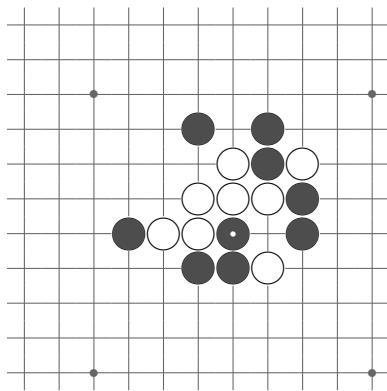
白 2 は a が強防です。



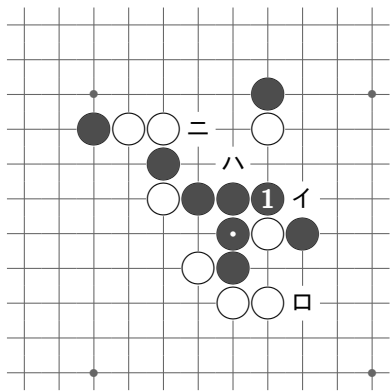
【問 3-16】白 1 後、(イハ) または (ロハ) の四追いで、異なる形ながらいずれも X 点四々禁。黒は白のノリ手のため、X や A に先に四ノビできません。



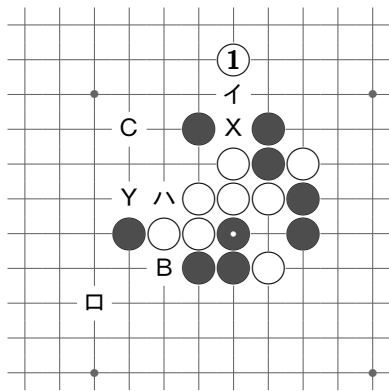
【問 3-17：黒先】白の剣先やノリ手に邪魔されないように打ちます。



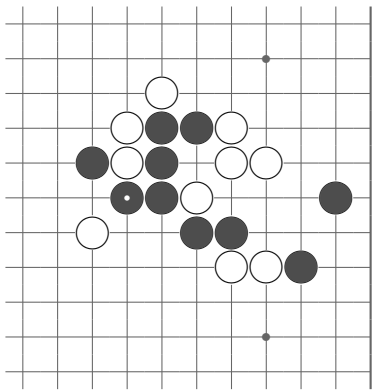
【問 3-18：白先】いかにも禁手を狙え
 そうな形です。



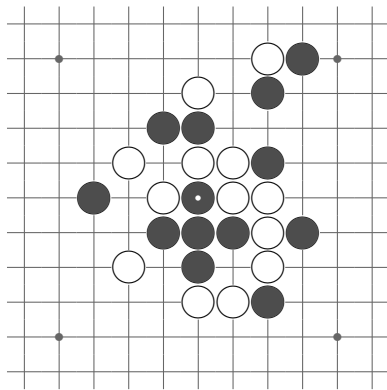
【問 3-17】黒 1 後、(イロ) の四三勝ち、
 または (ハニ) のノリ切り達四勝ち。
 ※ 初手でイは、白 1 と防がれます。



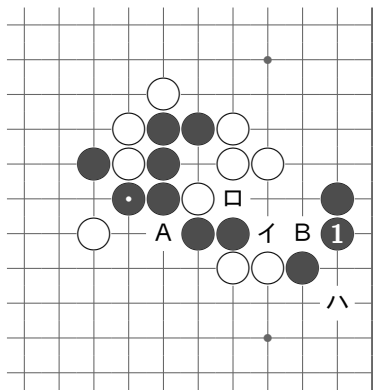
【問 3-18】白 1 後、イまたは (Y イ)
 で X 点三々禁 (または四三々禁)、あ
 るいは (ロハ) で Y 点三々禁。
 ※ 先にロの四ノビ後に 1 は、黒に B・
 C と打たれます。初手でイは、黒 1 と
 防がれます。



【問 3-19：黒先】四三々の禁手の点を何とか利用したいものです。



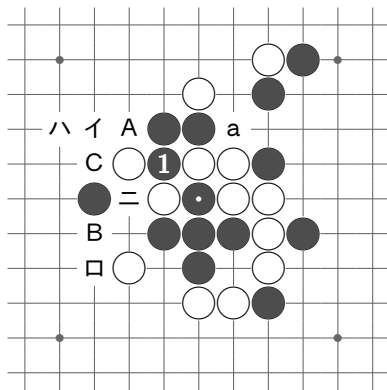
【問 3-20：黒先】ニセの四三に騙されないように。



【問 3-19】黒 1 後、A または (イロハ) の四三勝ち。

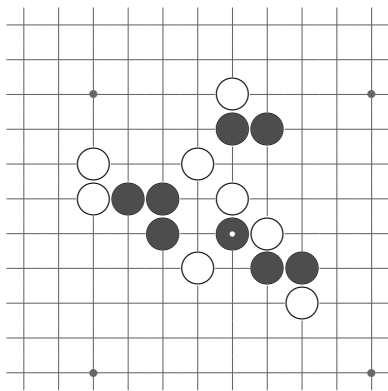
黒 1 によって A 点の横は長連筋の夏止めになり、三となりません。

※ 初手でイは白 1 で逆転です。B は白 A に止められます。

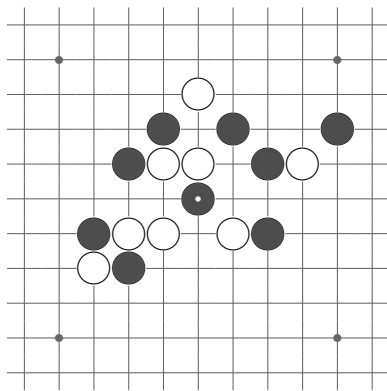


【問 3-20】黒 1 後、A または B の四三勝ち、あるいは (A イ B ロ) で四と三が残る勝ち。

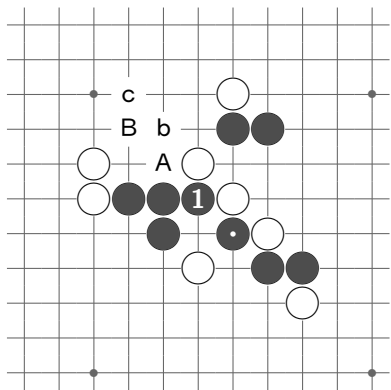
※ 初手で A は白 1 と、C は白 B とされます。白 2 が a の時、3 から (A ハ 二) は B 点四々のため否四三です。



【問 3-21：黒先】三々禁を狙われています。

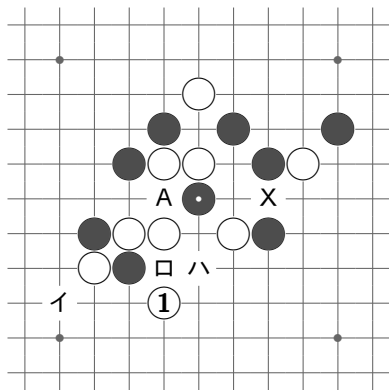


【問 3-22：白先】白の特権を生かしたい局面です。

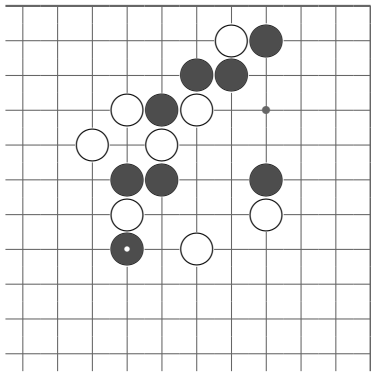


【問 3-21】黒 1 後 A の四三勝ち。白 b に四ノビすれば B の四三勝ちが残り、c に四ノビすれば別の三ができます。

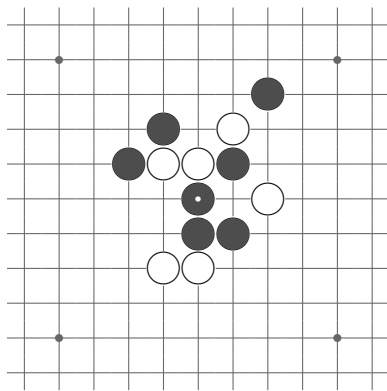
白 c の四ノビによる黒 b は、A が四々で縦が三でなく、否三々です。



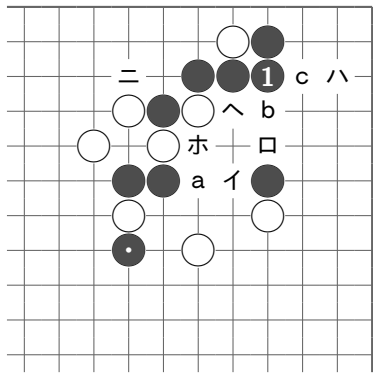
【問 3-22】白 1 後、A の四々勝ち、あるいはハ、(イハ) または (ロハ) にて X 点三々禁。



【問 3-23：黒先】四三の筋を探します。

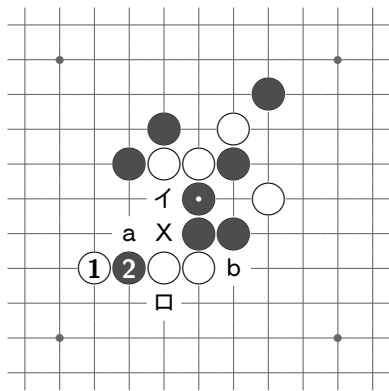


【問 3-24：白先】綺麗に決めてほしいのですが、簡単に考え過ぎてはいけません。



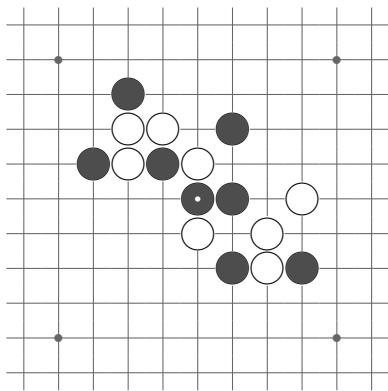
【問 3-23】黒 1 後、(イロハ) または (イロニホへ) の四三勝ち。

※ a-b-c の筋は長連筋で、四三にできません。

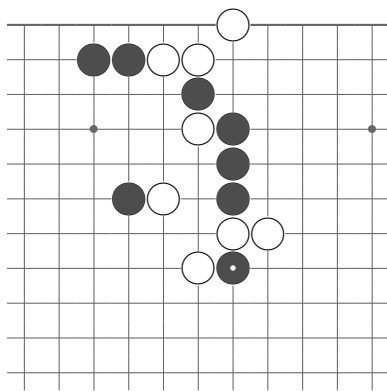


【問 3-24】白 1 で黒 2 と打たせて、(イロ) で X 点四々禁。

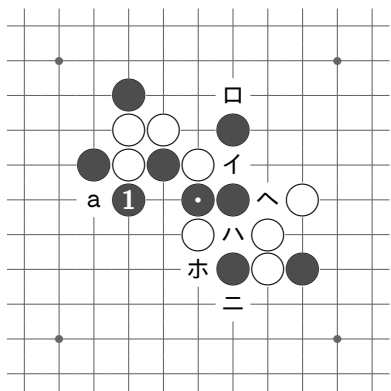
※ 黒 2 と打たせて ‘イで a 点三々禁’ というのは、X 点四々のため誤りです。初手でイは黒 a と、X は黒 b と防がれます。



【問 3-25：黒先】上下をうまく生かします。

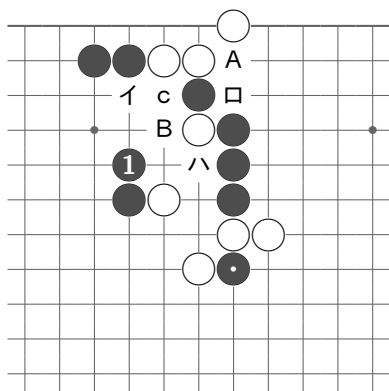


【問 3-26：黒先】打ちたい手はいくつかあります。



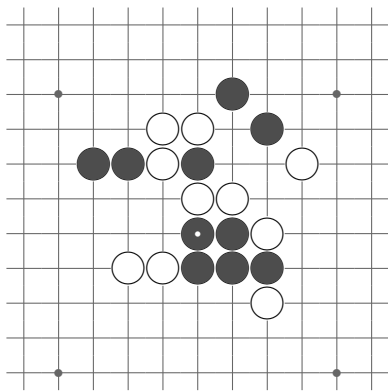
【問 3-25】黒 1 後、(イロ) または (ハニホへ) の四追いで四三勝ち。

白 2 で a として上部の四追いをノッても、下部に四追いが残っています。

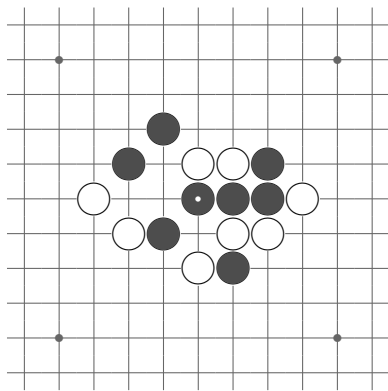


【問 3-26】黒 1 後、A、(イロ) または (イハ) の四三勝ち。

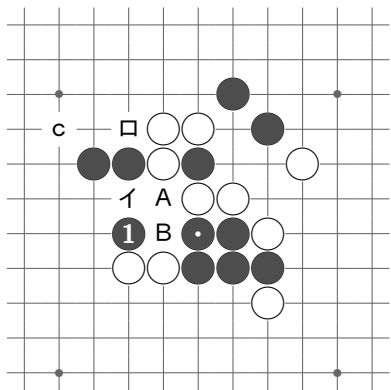
※ 初手で B は白 A、イは白 c、ハは白 B と防がれます。



【問 3-27：黒先】白の四三や強防を見落とさないように。



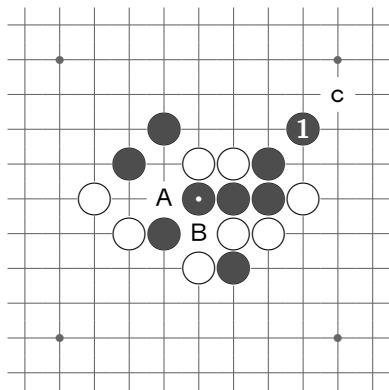
【問 3-28：黒先】打ちたい点は四三々です。



【問 3-27】 黒 1 後、A、B または (B
イ口 A) の四三勝ち。

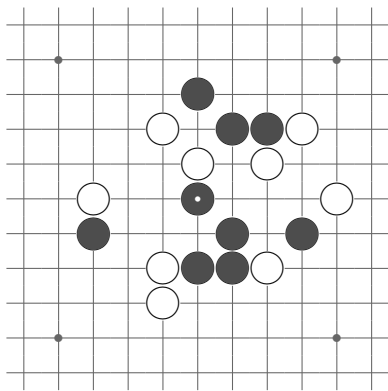
白 2 では c が強防です。

※ 初手で A や B は勝てません。

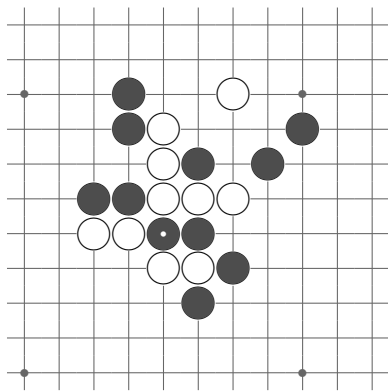


【問 3-28】 黒 1 後、A の四三勝ち。

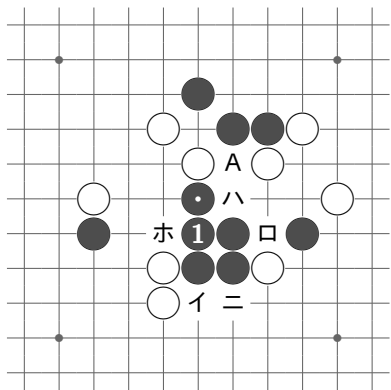
白が B に止めれば、A 点は四三と
なります。白が c に止めても、黒 A と
した時の B は四々のため斜めは三で
なく、A は単なる四三です。



【問 3-29：黒先】四三の点はあるのですが。



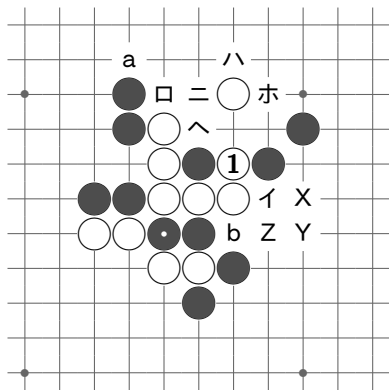
【問 3-30：白先】簡単に考えてはいけません。



【問 3-29】 黒 1 後、A、(イロ) または (イハニホ) の四三勝ち。

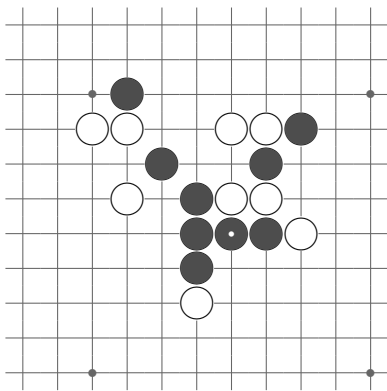
A の四三のノリ手を防ぐ黒 1 の三を止めるロもノリ手になっています。

※ 白 2 がロの時のホは、A 点四々のため四三ではありません。

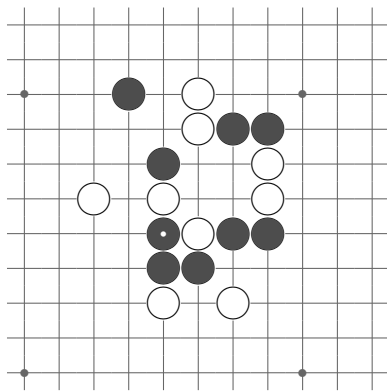


【問 3-30】 白 1 後、イにて X 点三々禁、または (イロ) の四三勝ち。黒 a の四ノビ後の b は、(イロハニホへ) で Y 点四々禁が残ります。

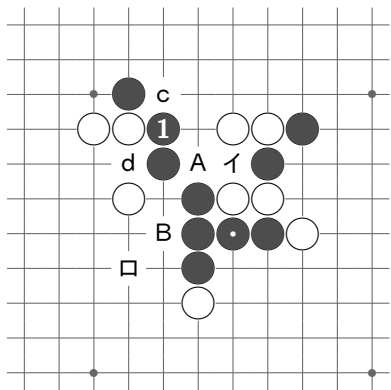
※ 黒 b 止め後の (ハイ) は、Z 点四々のため三々禁になりません。



【問 3-31：黒先】白の四三への対処をしつつ、白の強防にも注意して手を決めて下さい。

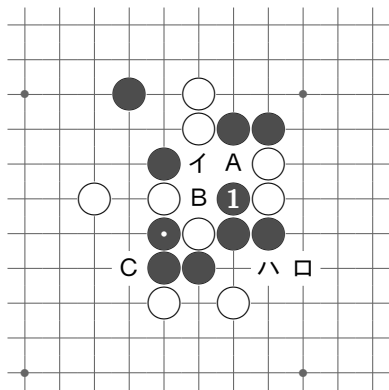


【問 3-32：黒先】白の四三と黒の三々が同じ点になっています。



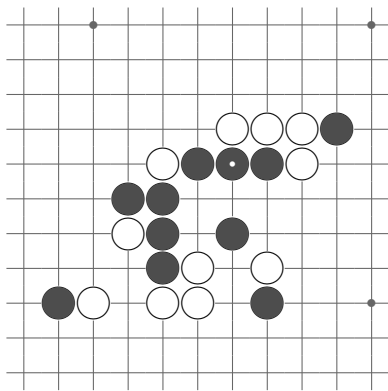
【問 3-31】黒 1 後、A または B の四三勝ち、あるいは (A イ) のノリ切り達四勝ち、または (A イ B □) で四と三が残る勝ち。

白 2 の強防は、c や d です。

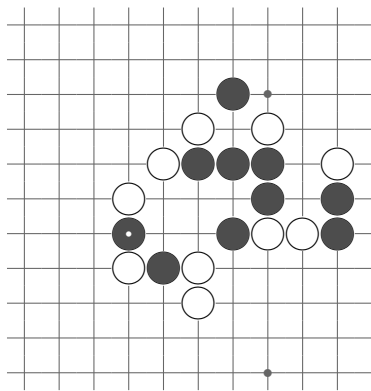


【問 3-32】黒 1 後、A または (イロハ) の四三勝ち。白イの四ノビは、B の三と C の四三が残ります。

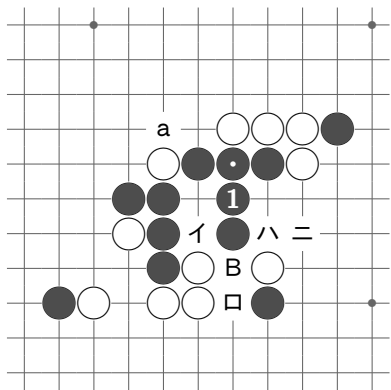
白イの四ノビを止める B は、A 点四々のため否三々です。



【問 3-33：黒先】上下の白の剣先に注意を払わねばなりません。

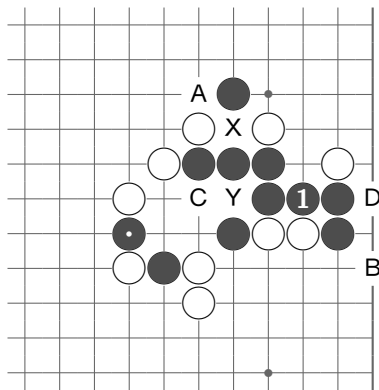


【問 3-34：黒先】実戦ではまず現われないでしょうが、こんな手で勝ってみたいものです。



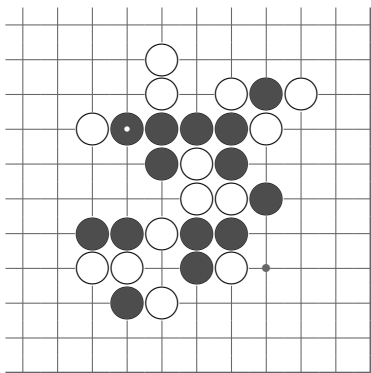
【問 3-33】黒 1 後、(イロハ) の四三勝ち。白 a と四ノビしても (イロニ) が残り、無効。

※ 初手で B やイ, ハ, 二等は、白勝ちになります。

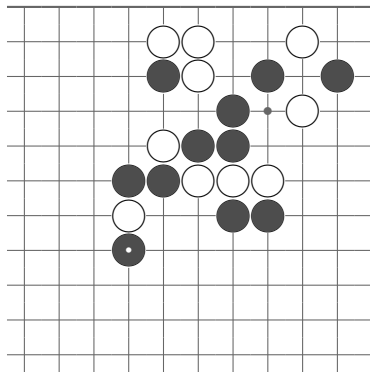


【問 3-34】黒 1 後、A, B, C または D の四で、他方の三らしきものが復活三となつての勝ちです。

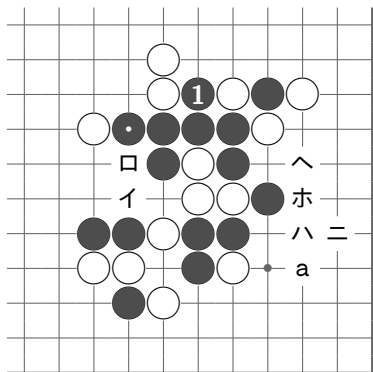
黒 1 は、X 点と Y 点が四々のため三ですらありませんが、上記のフクミ手になっています。



【問 3-35：黒先】全体を見て打ちます。

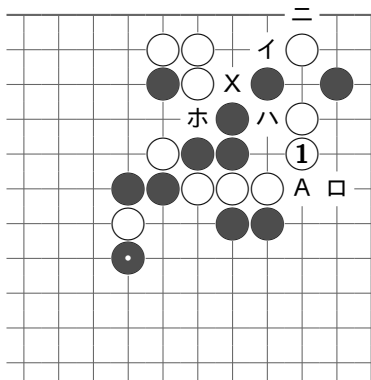


【問 3-36：白先】狭い所ですが、白勝ちがあります。



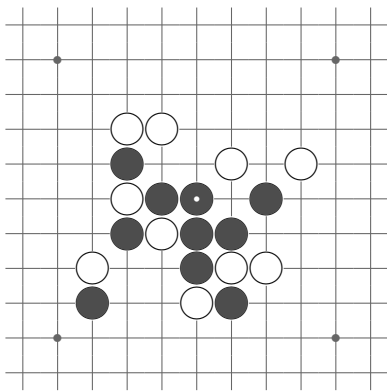
【問 3-35】黒 1 後、(イロ) または (ハニホへ) の四三勝ち。

※ 初手でハとして次にホの両ミセ手には、白 a と防がれます。

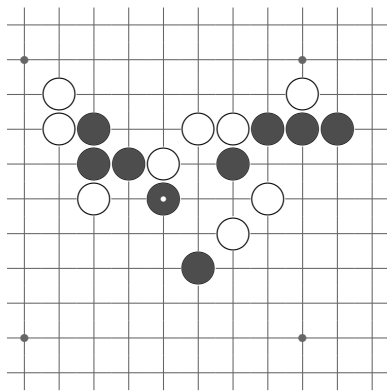


【問 3-36】白 1 後、A の四々勝ち、あるいは (イロハ) または (イニホ) で X 点四々禁。

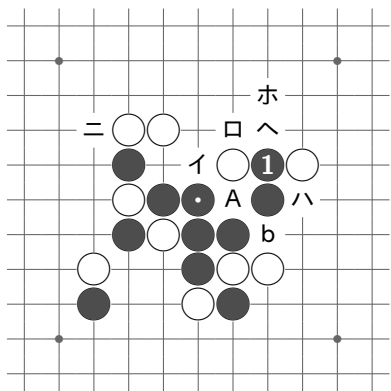
(イニホ) の代わりに (イニ X) の四三勝ちも可。



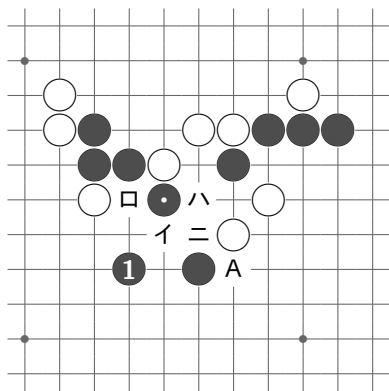
【問 3-37：黒先】どのように防がれても勝ちができるように打ちます。



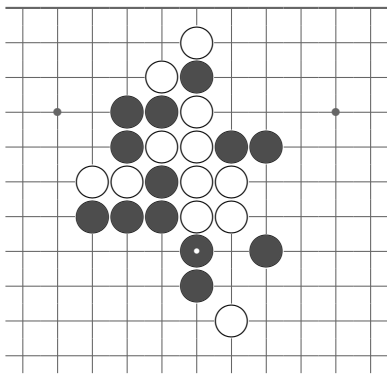
【問 3-38：黒先】いかにも好手！という手から始めます。



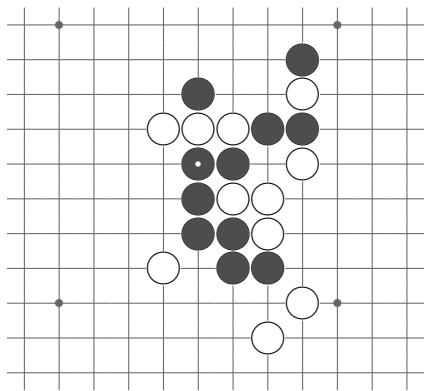
【問 3-37】黒 1 後、A または (イロハ) の四三勝ち、あるいは (イニホへ) でノリ押さえ達四勝ち。
 # 白 A や b 等の防ぎがあり、3 種類の勝ち方を示す必要があります。



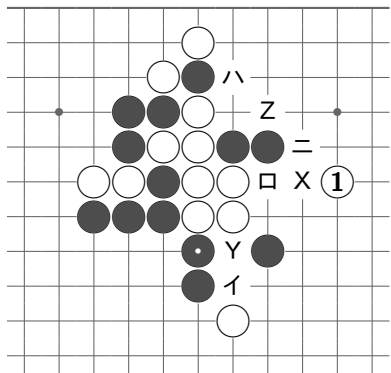
【問 3-38】黒 1 後、A、(イロ) または (ハニ) の四三勝ち。
 ※ 初手でイはハと、ハはニと止められます。初手で A やニと四ノビすると勝てなくなります。



【問 3-39：白先】多くの狙いがあると、勝ちにつながりやすいでしょう。

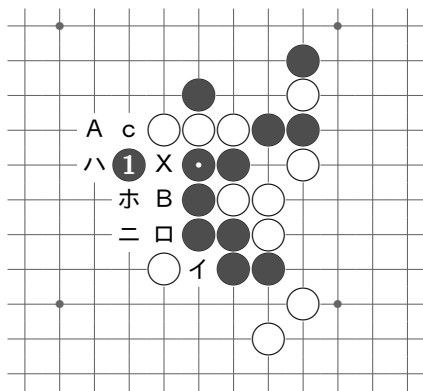


【問 3-40：黒先】初手に気付くかどうか。



【問 3-39】白 1 として、(イロ) で X 点三々禁、(ロイ) で Y 点三々禁、または (X ハニ) で Z 点四々禁。

黒はすべてを防ぐ手段がありません。



【問 3-40】黒 1 後 (イロハ) の四三勝ち。白 A には (イロニホ) が残ります。

黒 1 は、X 点が四々のため横は三でなく、斜めの三のみ。

※ 初手で A や B には白 1、初手からロ・ハには白 c・ホと防がれます。

まの よしひさ
著者紹介：真野 芳久

1975 年 五段昇段

2009 年 30 年の休珠後に棋戦参加を再開

2013 年 第 51 期名人戦 A 級リーグに東海地区代表として出場

2014 年, 2015 年, 2016 年 世界選手権戦に出場

2015 年 公益社団法人日本連珠社の理事に就任 (2023 年 退任)

2023 年現在：日本連珠社東海支部長

「連珠の基礎」等のフリーの pdf 連珠書籍を東海連珠会ホームページで公開

一手の詰連珠

2014 年 9 月 1 日

2023 年 12 月 1 日 第 3 刷

著者：真野 芳久

ga28735@gk2.so-net.ne.jp

発行：東海連珠会

